

2024年度年間教育計画

面接指導施設：岩谷学園高等専修学校

教科	科目		期間	担当者
地理歴史科	歴史総合	単位数： 3単位 [標準単位:3単位]	年間	津崎
指導目標				
<p>1 現代世界の地域的特色と日本及び世界の歴史の展開に関して理解するとともに、調査や諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。</p> <p>2 地理や歴史に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。</p> <p>3 地理や歴史に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の国土や歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。</p>				
スクーリング	全70回	面接指導： 17回 講義： 53回	教科書	実教出版 歴史総合
レポート	全9回	添削指導：講義に含む その他：3回	学習図書	自校作成の教材資料を使用
定期試験	あり	学期：2回	副教材	なし
定期試験の 評価割合	『総合的に判断します』	評定算出方法 100法5段階評定		

回	日付	曜日	単元・学習内容	面接指導	講義	レポート (締切期日)
1	4/8	月	第1編 近代化と私たち☒ 近代化への問い	○		第1回
2	4/9	火	第1章 近代化への胎動☒ 歴史のひろば(1)17世紀以前のアジアの繁栄とヨーロッパの海外進出		○	
3	4/15	月	1 江戸時代の日本と東アジア秩序の変動	○		
4	4/16	火	2 江戸時代の生産・流通と諸改革☒ 歴史のひろば(2)近世の琉球と蝦夷地		○	
5	4/22	月	3 幕政の改革と東アジア世界	○		
6	4/23	火	アクティブ1 「鎖国」は日本だけのもの？		○	
7	4/30	火	第2章 欧米の市民革命と「西洋の衝撃」☒ 歴史のひろば(3)ヨーロッパの主権国家体制の成立		○	
8	5/6	月	4 イギリス産業革命とアメリカ独立戦争		○	
9	5/7	火	5 フランス革命とウィーン体制☒ 資料の読み解きトレーニング(1)ナポレオンはどう描かれたのか	○		第2回
10	5/13	月	6 アメリカ合衆国の発展とラテンアメリカの独立		○	
11	5/14	火	歴史のひろば(4)世界市場の形成	○		
12	5/20	月	7 オスマン帝国の衰退とロシア	○		
13	5/21	火	歴史のひろば(5)イスラーム世界の拡大		○	
14	5/23	木	前期中間試験		○	
15	5/27	月	8 アヘン戦争の衝撃と日本の開国		○	

16	5/28	火	9 江戸幕府の滅亡 ☒ アクティブ2 19世紀の日本の外交交渉	○		
17	6/3	月	第3章 欧米諸国と日本の国民国家形成 ☒ 10 イギリス・フランスの繁栄とイタリア・ドイツの統一		○	第3回
18	6/4	火	11 明治政府の諸改革		○	
19	6/10	月	歴史のひろば(6)文明開化		○	
20	6/11	火	12 日本のアジア外交と国境問題		○	
21	6/17	月	13 自由民権運動と大日本帝国憲法		○	
22	6/18	火	アクティブ3 北海道旧土人保護法は何を目的に制定されたのか	○		
23	6/24	月	第4章 帝国主義の時代 ☒ 歴史のひろば(7)近代化する日本をおとすれた外国人	○		第4回
24	6/25	火	14 帝国主義の時代へ		○	
25	7/2	火	15 朝鮮をめぐる国際関係と日清戦争		○	
26	7/3	水	前期期末試験		○	
27	7/8	月	16 日清戦争後の東アジア	○		
28	7/9	火	17 日露戦争と東アジアの変動		○	
29	7/16	火	18 日本の産業革命		○	第5回
30	7/22	月	歴史のひろば(8)産業革命の光と影	○		
31	7/23	火	アクティブ4 日清戦争・日露戦争とナショナリズム		○	
32	9/2	月	第2編 国際秩序の変化や大衆化と私たち ☒ 国際秩序の変化や大衆化への問い		○	
33	9/3	火	第5章 第一次世界大戦と大衆社会 ☒ 19 第一次世界大戦		○	
34	9/9	月	20 ロシア革命とソ連の成立		○	
35	9/10	火	21 米騒動とデモクラシー		○	第6回
36	9/17	火	22 ヴェルサイユ体制とワシントン体制	○		
37	9/24	火	23 アジアの民族運動		○	
38	9/30	月	アクティブ5 民族資本の形成と影響		○	
39	10/1	火	24 第一次世界大戦後の欧米諸国		○	
40	10/7	月	25 ひろがる社会運動と普通選挙の実現		○	
41	10/8	火	歴史のひろば(9)1920年代に花ひらいた大衆文化 ☒ アクティブ6 移動する人々		○	第6回
42	10/15	火	第6章 経済危機と第二次世界大戦 ☒ 26 世界恐慌と各国の対応		○	
43	10/21	月	27 ファシズムの時代		○	
44	10/22	火	資料の読み解きトレーニング(2)若者はなぜヒトラーに協力したのか	○		
45	10/28	月	28 満洲事変と軍部の台頭		○	
46	10/29	火	29 日中戦争と戦時体制	○		
47	11/5	火	アクティブ7 戦争と文化		○	第6回
48	11/6	水	後期中間試験		○	
49	11/11	月	30 第二次世界大戦の勃発		○	
50	11/12	火	31 第二次世界大戦の終結		○	

51	11/18	月	歴史のひろば(10)沖縄と戦争		○	第7回
52	11/19	火	32 国際連合の成立と冷戦		○	
53	11/25	月	33 日本占領と日本国憲法		○	
54	11/26	火	歴史のひろば(11)日本国憲法		○	
55	12/2	月	34 朝鮮戦争と日本	○		
56	12/3	火	アクティブ8 満洲移民・引揚・戦後開拓		○	第8回
57	12/9	月	国際秩序の変化や大衆化と現代的な諸課題		○	
58	12/10	火	第3編 グローバル化と私たちⅡ グローバル化への問い		○	
59	12/16	月	第7章 冷戦と脱植民地化Ⅱ 35 植民地の独立Ⅱ 歴史のひろば(12)核実験と核競争		○	
60	12/17	火	36 米ソ両陣営の動揺		○	
61	12/23	月	歴史のひろば(13)高度経済成長		○	
62	12/24	火	37 日本の国際社会復帰と高度経済成長		○	
63	1/14	火	アクティブ9 沖縄からみたベトナム戦争		○	
64	1/20	月	第8章 多極化する世界Ⅱ 38 石油危機と世界経済Ⅱ 歴史のひろば(14)パレスティナ問題の変遷		○	
65	1/21	火	39 緊張緩和から冷戦の終息へ		○	第9回
66	1/27	月	40 日本の経済大国化Ⅱ アクティブ10 多国籍企業について考える		○	
67	1/28	火	第9章 グローバル化と現代世界Ⅱ 41 地域紛争と対立	○		
68	2/3	月	42 国際秩序の変容Ⅱ 歴史のひろば(15)グローバル化のなかの日本	○		
69	2/4	火	アクティブ11 持続可能な社会をめざしてⅡ 現代的な諸課題の形成と展望		○	
70	2/12	月	学年末試験		○	

2024年度年間教育計画

面接指導施設：岩谷学園高等専修学校

教科	科目		期間	担当者
商業	ビジネス基礎（1学年）	単位数：1 単位 [標準単位：2 単位]	年間	島倉

指導目標

ビジネスに関する基礎的な知識と技術を習得させ、ビジネスの意義や役割について理解させるとともに、ビジネスの諸活動を主体的、合理的に、かつ倫理観をもって行い、経済社会の発展を図る創造的な能力と実践的な態度を育てる。

スクーリング	全 35 回	面接指導： 19 回 講義： 14 回	教科書	ビジネス基礎/実教出版
レポート	なし	添削指導： 講義に含む その他： 2 回	学習図書	自校作成の教材資料を使用
定期試験	あり	学 期： 2 回	副教材	
定期試験の 評価割合	『総合的に判断 します』	評定算出方法 100法5段階評定		

回	日付	曜日	単元・学習内容	面接指導	講義	レポート (締切期日)
1	4/8	月	ガイダンス		○	
2	4/15	月	いざビジネスの世界へ		○	
3	4/22	月	私たちの社会とビジネス（1）	○		
4	5/13	月	私たちの社会とビジネス（2）	○		
5	5/20	月	私たちの社会とビジネス（3）	○		
6	5/27	月	電卓の使い方		○	
7	6/3	月	電卓 普通計算	○		
8	6/10	月	電卓 見取り算	○		
9	6/17	月	ビジネスコミュニケーション（1）		○	
10	6/24	月	ビジネスコミュニケーション（2）	○		
11	7/2	火	前期期末試験			
12	7/8	月	ビジネスマナー（1）		○	
13	7/22	月	ビジネスマナー（2）	○		
14	8/26	月	情報の入手と活用（1）		○	
15	9/2	月	情報の入手と活用（2）	○		
16	9/9	月	経済の仕組みとビジネス（1）		○	
17	9/30	月	経済の仕組みとビジネス（2）	○		
18	10/7	月	経済活動と流通（1）		○	
19	10/21	月	経済活動と流通（2）	○		
20	10/28	月	経済活動と流通（3）	○		

回	日付	曜日	単元・学習内容	面接指導	講義	レポート (締切期日)
21	11/11	月	経済活動と流通（４）	○		
22	11/18	月	ビジネスの種類（１）		○	
23	11/25	月	ビジネスの種類（２）	○		
24	12/2	月	小売業（１）		○	
25	12/9	月	小売業（２）	○		
26	12/16	月	卸売業		○	
27	12/23	月	物流業		○	
28	1/20	月	金融業		○	
29	1/27	月	情報通信業		○	
30	2/3	月	電卓_ビジネス計算 商品の数量と代価	○		
31	2/10	月	電卓_ビジネス計算 仕入原価と売価	○		
32	2/12	水	学年末試験	○		
33	2/17	月	電卓_ビジネス計算 外国貨幣の計算	○		
34	3/3	月	電卓_ビジネス計算 度量衡の計算	○		
35	3/10	月	電卓_ビジネス計算 割合の計算			

2024年度年間教育計画

面接指導施設：岩谷学園高等専修学校

教科	科目		期間	担当者
家庭科	家庭基礎	単位数： 2単位 [標準単位：2単位]	年間	安倍
指導目標				
1. 人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活などに関する基礎的・基本的な知識と技能を習得させ、家庭や地域の生活課題を主体的に解決するとともに、生活の充実向上を図る能力と実践的な態度を育てる。				
スクーリング	全70回	面接指導： 17回 講義： 53回	教科書	Creative Living『家庭基礎』で生活をつくろう（大修館）
レポート	全6回	添削指導： 講義に含む その他： 2回	学習図書	自校作成の教材資料を使用
定期試験	あり	学期： 1回	副教材	なし
定期試験の評価割合	『総合的に判断します』	評定算出方法 100法5段階評定		

回	日付	曜日	単元・学習内容	面接指導	講義	レポート (締切期日)
1	4/16	火	第1章 生活のマネジメント	○		第1回
2	4/16	火	(導入)章とびら1 生涯, 発達し続ける		○	
3	4/23	火	2 意思決定を重ねてつくる人生	○		
4	4/23	火	3 どんな生き方をする? 演習にTry! 人生を見通してみよう		○	
5	4/30	火	3 どんな生き方をする? 演習にTry! 人生を見通してみよう	○		
6	4/30	火	第2章 青年期の課題と自立		○	

(5/21㈬切)

7	5/7	火	1 家族って何だろう		○
8	5/7	火	2 わかってくれて当然？		○
9	5/14	火	3 生活マネジメントの拠点	○	
10	5/14	火	4 法律からみる家族・家庭		○
11	5/21	火	5 ダイバーシティの実現をめざす	○	
12	5/21	火	第3章 家族・家庭生活のマネジメント1 家族って何だろう	○	
13	5/28	火	2 わかってくれて当然？		○
14	5/28	火	3 生活マネジメントの拠点		○
15	6/4	火	4 法律からみる家族・家庭		○
16	6/4	火	5 ダイバーシティの実現をめざす	○	
17	6/11	火	第4章 子どもの生活と子育てのマネジメント1 子どもの世界を知る		○
18	6/11	火	2 命の誕生		○
19	6/18	火	3 こんにちは, 赤ちゃん		○
20	6/18	火	4 好奇心いっぱい！演習にTry！子どもとふれあおう		○
21	6/25	火	5 子どものいる暮らし7子どもの仕事は「遊び」	○	
22	6/25	火	7 子どもの健康と事故		

第2回
(7/2㈬切)

23	7/2	火	8 親になるということ	○	
24	7/2	火	9 社会で子育て		○
25	7/3	火	前期期末試験		○
26	7/9	火	第5章 高齢期の生活のマネジメント 1 人生100年時代の高齢期		○
27	7/9	火	2 年をとると変わることに	○	
28	7/16	火	3 高齢期の生活を支える		○
29	7/16	火	4 介護を支える演習にTry！ 高齢者の介助を体験してみよう		○
30	8/27	火	5 これからの高齢社会	○	
31	8/27	火	第6章 共生社会をつくる1 生活課題の乗り越え方		○
32	9/3	火	2 みんなで支え合うしくみ		○
33	9/3	火	3 とともに生き、社会をつくる		○
34	9/10	火	第7章 持続可能な社会をつくる1 地球が危ない		○
35	9/10	火	2 ライフスタイル再考		○
36	9/17	火	3 めざせ！ 持続可能な社会	○	
37	9/17	火	第8章 経済生活のマネジメント1 生活を営むためのお金		○
38	9/24	火	2 経済のしくみを知ろう		○

第3回
(9/17 〆切)

39	9/24	火	3 お金と上手につきあう術 演習にTry! ライフプランを 立てよう		○
40	10/1	火	4 18歳で変わる消費生活		○
41	10/1	火	5 進むキャッシュレス社会		○
42	10/8	火	6 「お金を借りる」という こと		○
43	10/8	火	7 消費者トラブルの今		○
44	10/15	火	8 消費者の自立を支援する	○	
45	10/15	火	9 情報社会を生きる		○
46	10/22	火	10 私たちが社会を動かす	○	
47	10/22	火	第9章 食生活のマネジメント1 体と心を満たす食事		○
48	10/29	火	2 イエローカードかも?		○
49	10/29	火	3 栄養バランスのよい食事		○
50	11/5	火	4 炭水化物を摂る		○
51	11/5	火	5 脂質を摂る		○
52	11/12	火	6 たんぱく質を摂る		○
53	11/12	火	7 無機質を摂る		○
54	11/19	火	8 ビタミンを摂る		○

第4回
(10/29 〆切)

第5回

55	11/19	火	9 豊かな食卓に	○		(12/10㍻切)
56	11/26	火	10 食品のプロフィールを知る		○	
57	11/26	火	11 食品を安全に取り扱う		○	
58	12/3	火	12 持続可能な食生活		○	
59	12/3	火	13 みんなでおいしい食事を演習にTry! 献立づくりに挑戦		○	
60	12/10	火	14 調理のワザを身につける調理実習		○	
61	12/10	火	第10章 衣生活のマネジメント1 人と被服のかかわり		○	第6回 (2/12㍻切)
62	12/17	火	2 快適な衣生活の条件		○	
63	12/17	火	3 夏は麻, 冬は毛の理由		○	
64	12/24	火	4 健康と安全を守る被服		○	
65	12/24	火	5 長持ちさせる手入れ		○	
66	1/21	火	6 被服の3R, 実践してる?		○	
67	1/21	火	7 衣生活のPDCA	○		
68	1/28	火	第11章 住生活のマネジメント1 住まいを知ろう	○		
69	2/4	火	2 日本の住文化を知ろう3 住む人の生活 と住まい	○		
70	2/12	月	学年末試験			

2024年度年間教育計画

面接指導施設：岩谷学園高等専修学校

教 科		科 目		期 間	担 当 者
商業		1年生課題研究		単位数：2単位 [標準単位：2 単位]	年間 佐藤 岡野 島倉
指導目標					
1 商業や自分の進路、自己理解に関わる課題を設定し、その課題の解決を図る学習を通して、専門的な知識と技術の深化、総合化を図るとともに、問題解決の能力や自発的、創造的な学習態度を育てる。					
スクーリング	全70回	面接指導： 18回		教科書	なし
		講義： 50回			
レポート	なし	添削指導： 講義に含む		学習図書	自校作成の教材資料を使用
		その他： 回			
定期試験	あり	学 期： 1回		副教材	なし
定期試験の 評価割合	『総合的に判断します』	評定算出方法 100法5段階評定			

回	日付	曜日	単元・学習内容	面接 指導	講義	レポート (締切期日)
1	4/11	木	防災学習	○		
2	4/11	木	連想トレーニング		○	
3	4/18	木	自己理解のための学習	○		
4	4/18	木	グループワーク		○	
5	4/25	木	グループワーク	○		
6	4/25	木	グループワーク		○	
7	5/2	木	仲間づくり		○	
8	5/2	木	いじめアンケート実施		○	
9	5/9	木	面談(自己理解)	○		
10	5/9	木	面談(自己理解)		○	
11	5/16	木	面談(自己理解)	○		
12	5/16	木	面談(自己理解)	○		
13	5/23	木	自己理解		○	
14	5/23	木	自己理解		○	
15	5/30	木	パフォーマンスアセスメント		○	
16	5/30	木	PA面談(自己理解)	○		
17	6/6	木	PA面談(自己理解)		○	
18	6/6	木	PA面談(自己理解)		○	

19	6/13	木	PA面談（自己理解）		○
20	6/13	木	PA面談（自己理解）		○
21	6/20	木	PA面談（自己理解）	○	
22	6/20	木	面談(自己理解)	○	
23	6/27	木	面談(自己理解)	○	
24	6/27	木	面談(自己理解)		○
25	7/4	木	前期期末試験		○
26	7/4	木	商品デザイン		○
27	7/11	木	商品デザイン	○	
28	7/11	木	選挙学習		○
29	7/18	木	商品開発と知的財産		○
30	7/18	木	商品開発と知的財産	○	
31	8/29	木	連想トレーニング		○
32	8/29	木	連想トレーニング		○
33	9/5	木	連想トレーニング		○
34	9/5	火	連想トレーニング		
35	9/12	木	いじめアンケート実施		○
36	9/12	木	検定学習	○	
37	9/19	木	面談(自己理解)		○
38	9/19	木	面談(自己理解)		○
39	9/26	木	面談(自己理解)		○
40	9/26	木	面談(自己理解)		○
41	10/3	木	職業適性検査（GATB）	○	
42	10/3	木	職業適性検査（GATB）	○	
43	10/10	木	キャリア学習		○
44	10/10	木	キャリア学習		○
45	10/17	木	キャリアレポート		○
46	10/17	木	キャリアレポート		○
47	10/24	木	人権に関する課題の学習		○
48	10/24	木	人権に関する課題の学習		○
49	10/31	木	人権に関する課題の学習		○
50	10/31	木	人権に関する課題の学習		○
51	11/7	木	人権に関する課題の学習		○
52	11/7	木	人権に関する課題の学習		○
53	11/14	木	自己理解		○
54	11/14	木	自己理解		○
55	11/21	木	自己理解	○	
56	11/21	木	ビジネスマナー		○

57	11/28	木	ビジネスマナー		○
58	11/28	木	ビジネスとプレゼンテーションの技法		○
59	12/5	木	ビジネスとプレゼンテーションの技法		○
60	12/5	木	プレゼン資料集め		○
61	12/12	木	プレゼン資料集め		○
62	12/12	木	プレゼン資料集め		○
63	12/19	木	プレゼン資料集め		○
64	12/19	木	プレゼン資料集め		○
65	1/11	木	PPによるスライド作成		○
66	1/11	木	PPによるスライド作成		○
67	1/18	木	プレゼンテーション練習	○	
68	1/18	木	プレゼンテーション発表会	○	
69	1/25	木	検定学習		○
70	2/16	木	学年末試験		

2024年度年間教育計画

面接指導施設：岩谷学園高等専修学校

教科	科目		期間	担当者
国語	現代の国語(1年次)		年間	柴田
		単位数：2単位 [標準単位：2単位]		
指導目標				
1 語彙力を高め、常用漢字の読み書きの定着を図る。				
2 様々な文章に接し、論理的に考えたり、深く共感したり、豊かに想像したりする力を伸ばす。				
3 自分の考えを深め、その思いを他者に伝える表現力を学び、社会の中で相互理解を深めていく力を育む				
スクーリング	全70回	面接指導：19回 講義：47回	教科書	第一出版 現代の国語
レポート	全6回	添削指導：講義に含む その他：6回	学習図書	自校作成の教材資料を使用
定期試験	あり	学期：2回	副教材	なし
定期試験の評価割合	総合的に判断します	評定算出方法 100法5段階評定		

回	日付	曜日	単元・学習内容	面接指導	講義	レポート (締切期日)
1	4/16	火	話し方の工夫の工夫(表現・話す)	○		第1回
2	4/16	火	話し方の工夫の工夫(表現・話す)		○	
3	4/23	火	「生き物」として生きる(中村桂子) (理解・評論)	○		
4	4/23	火	「生き物」として生きる(中村桂子) (理解・評論)		○	
5	4/30	火	「生き物」として生きる(中村桂子) (理解・評論)		○	
6	4/30	火	「生き物」として生きる(中村桂子) (理解・評論)		○	

(5/21迄切)

7	5/7	火	「生き物」として生きる」(中村桂子) (理解・評論)		○
8	5/7	火	「生き物」として生きる」(中村桂子) (理解・評論)		○
9	5/14	火	羅生門(芥川龍之介) (理解・文学)	○	
10	5/14	火	羅生門(芥川龍之介) (理解・文学)		○
11	5/21	火	羅生門(芥川龍之介) (理解・文学)		○
12	5/21	火	羅生門(芥川龍之介) (理解・文学)		○
13	5/22	水	前期中間試験		
14	5/28	火	羅生門(芥川龍之介) (理解・文学)		○
15	5/28	火	水の東西(山崎正和) (理解・評論)	○	
16	6/4	火	水の東西(山崎正和) (理解・評論)		○
17	6/4	火	水の東西(山崎正和) (理解・評論)		○
18	6/11	火	水の東西(山崎正和) (理解・評論)		○
19	6/11	火	水の東西(山崎正和) (理解・評論)		○
20	6/18	火	水の東西(山崎正和) (理解・評論)		○
21	6/18	火	「間」の感覚(高階秀爾) (理解・評論分析)	○	
22	6/25	火	「間」の感覚(高階秀爾) (理解・評論分析)		○

第2回
(7/4迄切)

23	6/25	火	「間」の感覚(高階秀爾)(理解・評論分析)		○
24	7/4	火	前期期末試験		
25	7/9	火	日本語は世界をこのように捉える(小浜逸郎)(理解・評論分析)	○	
26	7/9	火	日本語は世界をこのように捉える(小浜逸郎)(理解・評論分析)		○
27	7/16	火	日本語は世界をこのように捉える(小浜逸郎)(理解・評論分析)		○
28	7/16	火	日本語は世界をこのように捉える(小浜逸郎)(理解・評論分析)		○
29	8/27	火	スピーチで自分を伝える(表現・話す)	○	
30	8/27	火	スピーチで自分を伝える(表現・話す)		○
31	9/3	火	スピーチで自分を伝える(表現・話す)		○
32	9/3	火	スピーチで自分を伝える(表現・話す)		○
33	9/10	火	無彩の色(港千尋)(理解・評論)	○	
34	9/10	火	無彩の色(港千尋)(理解・評論)		○
35	9/17	火	無彩の色(港千尋)(理解・評論)		○
36	9/17	火	無彩の色(港千尋)(理解・評論)	○	
37	10/1	火	夢十夜(夏目漱石)	○	
38	10/1	火	夢十夜(夏目漱石)		○

第3回
(9/17 〆切)

39	10/8	火	夢十夜(夏目漱石)		○
40	10/8	火	夢十夜(夏目漱石)		○
41	10/15	火	夢十夜(夏目漱石)		○
42	10/15	火	書き方の基礎レッスン(表現・書く)	○	
43	10/22	火	書き方の基礎レッスン(表現・書く)		○
44	10/22	火	書き方の基礎レッスン(表現・書く)		○
45	10/29	火	「私作り」とプライバシー(坂本俊生)(理解・論理分析)	○	
46	10/29	火	「私作り」とプライバシー(坂本俊生)(理解・論理分析)		○
47	11/5	火	「私作り」とプライバシー(坂本俊生)(理解・論理分析)		○
48	11/5	火	「私作り」とプライバシー(坂本俊生)(理解・論理分析)		○
49	11/10	金	後期中間試験		
50	11/12	火	AIは哲学できるか(森岡正博)(理解・論理分析)	○	
51	11/12	火	AIは哲学できるか(森岡正博)(理解・論理分析)		○
52	11/19	火	AIは哲学できるか(森岡正博)(理解・論理分析)		○
53	11/19	火	情報の探索と選択(表現・話す)	○	
54	11/26	火	情報の探索と選択(表現・話す)		○

第4回
(11/5 〆切)

第5回

(12/17 ㄨ切)

55	11/26	火	情報の探索と選択(表現・話す)		○
56	12/3	火	情報源の明示(表現・話す)	○	
57	12/3	火	不均等な時間(内山節)(理解・評論)	○	
58	12/10	火	不均等な時間(内山節)(理解・評論)		○
59	12/10	火	不均等な時間(内山節)(理解・評論)		○
60	12/17	火	不均等な時間(内山節)(理解・評論)		○
61	12/17	火	不均等な時間(内山節)(理解・評論)		○
62	1/14	火	不均等な時間(内山節)(理解・評論)		○
63	1/14	火	待遇表現(表現・話す)	○	
64	1/21	火	待遇表現(表現・話す)		○
65	1/21	火	待遇表現(表現・話す)		○
66	1/28	火	待遇表現(表現・話す)		○
67	1/28	火	デザインの本意(原研哉)(理解・評論分析)	○	
68	2/4	火	デザインの本意(原研哉)(理解・評論分析)		○
69	2/4	火	「動機の語彙論」という視点(鈴木智之)(理解・評論分析)	○	
70	2/11	火	学年末試験		

第6回
(2/11 ㄨ切)

2024年度年間教育計画

面接指導施設：岩谷学園高等専修学校

教科		科目		期間	担当者	
理科		科学と人間生活		年間	佐々木 颯	
		単位数： 2単位 [標準単位： 2単位]				
指導目標						
1. 自然及び、生物に関する興味、関心を育む。 2. 生物界の営みと人間生活の関わりについての理解を深める。 3. 生物と日常生活や社会とを関連付けて科学的に探究する力を養う。						
スクーリング	全 70 回	面接指導： 12 回 講義： 58 回	教科書	第一学習社 高等学校 科学と人間生活		
レポート	全 6 回	添削指導： 6 回 その他： 回	学習図書	自校作成の教材資料を使用		
定期試験	あり	学 期： 2 回	副教材	なし		
定期試験の 評価割合	「総合的に判断します」	評定算出方法 100法5段階評定				
回	日付	曜日	単元・学習内容	面接 指導	講義	レポート (締切期日)
1	4/9	水	科学技術の発展	○		第1回 5/23
2	4/11	木	科学技術の発展		○	
3	4/16	火	科学技術の発展		○	
4	4/18	木	科学技術の発展		○	
5	4/23	火	科学技術の発展		○	
6	4/25	木	科学技術の発展		○	
7	4/30	火	人間生活の科学、物質の科学	○		
8	5/2	木	人間生活の科学、物質の科学		○	
9	5/7	火	人間生活の科学、物質の科学		○	
10	5/9	木	人間生活の科学、物質の科学		○	
11	5/14	火	人間生活の科学、物質の科学		○	
12	5/16	木	人間生活の科学、物質の科学		○	
13	5/21	火	人間生活の科学、物質の科学		○	
14	5/23	木	前期中間試験	○		
15	5/28	火	人間生活の科学、物質の科学		○	

16	5/30	木	人間生活の科学、物質の科学		○	第2回 7/4
17	6/4	火	人間生活の科学、物質の科学		○	
18	6/6	木	人間生活の科学、物質の科学		○	
19	6/11	火	人間生活の科学、物質の科学		○	
20	6/13	木	人間生活の科学、物質の科学		○	
21	6/18	火	人間生活の科学、物質の科学		○	
22	6/20	木	人間生活の科学、物質の科学		○	
23	6/25	火	人間生活の科学、物質の科学		○	
24	6/27	木	人間生活の科学、物質の科学		○	
25	7/2	火	熱や光の科学	○		
26	7/4	木	前期期末試験	○		
27	7/9	火	熱や光の科学		○	第3回 9/17
28	7/11	木	熱や光の科学		○	
29	7/16	火	熱や光の科学		○	
30	7/18	木	熱や光の科学		○	
31	8/27	火	熱や光の科学		○	
32	8/29	木	熱や光の科学		○	
33	9/3	火	熱や光の科学		○	
34	9/5	木	熱や光の科学		○	
35	9/10	火	熱や光の科学		○	
36	9/12	木	熱や光の科学		○	
37	9/17	火	熱や光の科学	○		
38	9/19	木	地球や宇宙の科学	○		第4回 11/7
39	9/24	火	地球や宇宙の科学		○	
40	9/26	木	地球や宇宙の科学		○	
41	10/1	火	地球や宇宙の科学		○	

42	10/3	木	地球や宇宙の科学		○	
43	10/8	火	地球や宇宙の科学		○	
44	10/15	火	地球や宇宙の科学		○	
45	10/17	木	地球や宇宙の科学		○	
46	10/22	火	地球や宇宙の科学		○	
47	10/24	木	地球や宇宙の科学		○	
48	10/29	火	地球や宇宙の科学		○	
49	10/31	木	地球や宇宙の科学		○	
50	11/5	火	地球や宇宙の科学	○		
51	11/7	木	後期中間試験	○		
52	11/12	火	生命の科学	○		第5回 1/23
53	11/14	木	生命の科学		○	
54	11/19	火	生命の科学		○	
55	11/21	木	生命の科学		○	
56	11/26	火	生命の科学		○	
57	11/28	木	生命の科学		○	
58	12/3	火	生命の科学		○	
59	12/5	木	生命の科学		○	
60	12/10	火	生命の科学		○	
61	12/12	木	生命の科学		○	
62	12/17	火	生命の科学		○	
63	12/19	木	生命の科学		○	
64	12/24	火	生命の科学		○	
65	1/21	木	生命の科学		○	
66	1/23	火	生命の科学		○	
67	1/28	木	これからの科学と人間生活	○		

68	2/4	火	これからの科学と人間生活		○	第6回 2/12
69	2/6	木	これからの科学と人間生活		○	
70	2/12	火	学年末試験	○		

2024年度年間教育計画

面接指導施設：岩谷学園高等専修学校

教 科		科 目		期 間	担 当 者	
商業		ビジネス基礎（2学年）		単位数： 1 単位 [標準単位： 2 単位]	年間 島倉	
指導目標						
ビジネスに関する基礎的な知識と技術を習得させ、ビジネスの意義や役割について理解させるとともに、ビジネスの諸活動を主体的、合理的に、かつ倫理観をもって行い、経済社会の発展を図る創造的な能力と実践的な態度を育てる。						
スクーリング	全 35 回	面接指導： 15 回 講義： 17 回	教科書	ビジネス基礎/実教出版		
レポート	なし	添削指導： 講義に含む その他： 3 回	学習図書	自校作成の教材資料を使用		
定期試験	あり	学 期： 2 回	副教材			
定期試験の 評価割合	『総合的に判断 します』	評定算出方法 100法5段階評定				
回	日付	曜日	単元・学習内容	面接指導	講義	レポート (締切期日)
1	4/8	月	ガイダンス・ビジネスコミュニケーション		○	
2	4/15	月	ビジネスと企業（1）		○	
3	4/22	月	ビジネスと企業（2）	○		
4	5/13	月	資金調達（1）		○	
5	5/20	月	資金調達（2）	○		
6	5/27	月	企業活動と税（1）		○	
7	6/3	月	企業活動と税（2）	○		
8	6/10	月	雇用（1）		○	
9	6/17	月	雇用（2）	○		
10	6/24	月	企業倫理（1）		○	
11	7/2	火	期末試験			
12	7/8	月	企業倫理（2）		○	
13	7/22	月	電卓の使い方		○	
14	8/26	月	時事問題		○	
15	9/2	月	電卓計算	○		
16	9/9	月	売買取引の手順（1）		○	
17	9/30	月	売買取引の手順（2）	○		
18	10/7	月	代金決済（1）		○	
19	10/21	月	代金決済（2）	○		
20	10/28	月	売買の計算に関する基礎（1）		○	

回	日付	曜日	単元・学習内容	面接指導	講義	レポート (締切期日)
21	11/11	月	売買の計算に関する基礎 (2)	○		
22	11/18	月	売買の計算に関する応用 (1)		○	
23	11/25	月	売買の計算に関する応用 (2)	○		
24	12/2	月	中間試験			
25	12/9	月	時事問題		○	
26	12/16	月	コミュニケーション (1)		○	
27	12/23	月	コミュニケーション (2)	○		
28	1/20	月	コミュニケーション (3)	○		
29	1/27	月	ビジネスマナー (1)		○	
30	2/3	月	ビジネスマナー (2)	○		
31	2/10	月	ビジネスマナー (3)	○		
32	2/12	水	学年末試験			
33	2/17	月	情報の入手と活用 (1)		○	
34	3/3	月	情報の入手と活用 (2)	○		
35	3/10	月	情報の入手と活用 (3)	○		

2024年度年間教育計画

面接指導施設：岩谷学園高等専修学校

教科		科目		期間	担当者
商業		プログラミング		単位数： 1単位 [標準単位： 単位]	年間 渡邊
指導目標					
1 コンピュータを使ったデータ処理の仕組みについて理解させる。 2 プログラミングに関する知識と技術を習得させる。 3 体験的学習を通して創造力や論理的な思考力を育成する。 4 ビジネスの諸活動において、情報を合理的に処理しコンピュータを効果的に活用する能力と態度を育む。					
スクーリング	全35回	面接指導： 10回 講義： 23回	教科書	実教出版最新プログラミング	
レポート	全 0回	添削指導： 講義に含む その他： 0回	学習図書	自校作成の教材資料を使用	
定期試験	あり	学期： 2回	副教材	無し	
定期試験の 評価割合	『総合的に判断します』	評価算出方法 100法5段階評定			

回	日付	曜日	単元・学習内容	面接	講義	レポート
				指導		(締切期日)
1	4/8		コンピュータとプログラミング		○	
2	4/15		ビジネスと情報処理システム		○	
3	4/22		情報とコンピュータ		○	
4	5/13		ビジネスとコンピュータ		○	
5	5/20		情報処理システム		○	
6	5/27		システムの活用例		○	
7	6/3		ユビキタスネットワーク社会		○	
8	6/10		プログラミング基礎		○	
9	6/17		プログラミングの手順		○	
10	6/24		JAVA言語とプログラミング		○	
11	7/2		前期期末試験			
12	7/8		プログラムの作成と実行	○		
13	7/22		データの入出力と演算	○		
14	8/26		データの出力	○		
15	9/2		変数	○		
16	9/9		データの入力		○	
17	9/30		いろいろな演算		○	
18	10/7		アルゴリズムの表現技法		○	
19	10/21		流れ図		○	
20	10/28		基本制御構造		○	
21	11/11		条件判定とくりかえし処理		○	

22	11/18	判定		○
23	11/25	選択	○	
24	12/2	一定回数のくりかえし	○	
25	12/9	条件によるくりかえし		○
26	12/16	オブジェクト指向の考え方		○
27	12/23	クラスの考え方		○
28	1/20	クラスの定義とオブジェクトの生成		○
29	1/27	オブジェクト指向の3大要素		○
30	2/3	プログラム実習		○
31	2/10	プログラム実習	○	
32	2/12	学年末試験	○	
33	2/17	プログラム実習	○	
34	3/3	プログラム実習	○	
35	3/10	プログラム実習		

2024年度年間教育計画

面接指導施設：岩谷学園高等専修学校

教科	科目		期間	担当者
商業	2年生課題研究	単位数：2単位 [標準単位：2 単位]	年間	倉田 津崎 兔沢
指導目標				
1 商業や自分の進路、自己理解に関わる課題を設定し、その課題の解決を図る学習を通して、専門的な知識と技術の深化、総合化を図るとともに、問題解決の能力や自発的、創造的な学習態度を育てる。				
スクーリング	全70回	面接指導： 17回 講義： 51回	教科書	なし
レポート	なし	添削指導： 講義に含む その他： 回	学習図書	自校作成の教材資料を使用
定期試験	あり	学期： 1回	副教材	なし
定期試験の 評価割合	『総合的に判断します』	評定算出方法 100法5段階評定		

回	日付	曜日	単元・学習内容	面接指導	講義	レポート (締切期日)
1	4/17	水	防災学習	○		
2	4/17	水	連想トレーニング		○	
3	4/24	水	自己理解のための学習	○		
4	4/24	水	グループワーク		○	
5	5/1	水	グループワーク	○		
6	5/1	水	グループワーク		○	
7	5/8	水	仲間づくり		○	
8	5/8	水	いじめアンケート実施		○	
9	5/15	水	面談(自己理解)	○		
10	5/15	水	面談(自己理解)		○	
11	5/22	水	面談(自己理解)	○		
12	5/22	水	面談(自己理解)	○		
13	5/29	水	自己理解		○	
14	5/29	水	自己理解		○	
15	6/5	水	パフォーマンスアセスメント		○	
16	6/5	水	PA面談(自己理解)	○		
17	6/12	水	PA面談(自己理解)		○	
18	6/12	水	PA面談(自己理解)		○	

19	6/19	水	PA面談（自己理解）		○
20	6/19	水	PA面談（自己理解）		○
21	6/26	水	PA面談（自己理解）	○	
22	6/26	水	面談(自己理解)	○	
23	7/3	水	前期期末試験		
24	7/10	水	面談(自己理解)		○
25	7/10	水	商品開発		○
26	7/17	水	商品デザイン		○
27	7/17	水	商品デザイン	○	
28	8/28	水	商品デザイン		○
29	8/28	水	商品開発と知的財産		○
30	9/4	水	商品開発と知的財産	○	
31	9/4	水	商品開発と知的財産		○
32	9/11	水	商品開発と知的財産		○
33	9/11	水	商品開発と知的財産		○
34	9/18	水	前期期末試験		○
35	9/18	水	いじめアンケート実施		○
36	9/25	水	検定学習	○	
37	9/25	水	面談(自己理解)		○
38	10/2	水	面談(自己理解)		○
39	10/2	水	面談(自己理解)		○
40	10/16	水	面談(自己理解)		○
41	10/16	水	いじめアンケート実施	○	
42	10/23	水	キャリア学習	○	
43	10/23	水	キャリア学習		○
44	10/30	水	キャリア学習		○
45	10/30	水	キャリアレポート		○
46	11/13	水	キャリアレポート		○
47	11/13	水	人権に関する課題の学習		○
48	11/20	水	人権に関する課題の学習		○
49	11/20	水	人権に関する課題の学習		○
50	11/27	水	人権に関する課題の学習		○
51	11/27	水	人権に関する課題の学習		○
52	12/4	水	人権に関する課題の学習		○
53	12/4	水	自己理解		○
54	12/11	水	自己理解		○
55	12/11	水	自己理解	○	
56	12/18	水	ビジネスマナー		○

57	12/18	水	ビジネスマナー		○
58	1/8	水	ビジネスとプレゼンテーションの技法		○
59	1/8	水	ビジネスとプレゼンテーションの技法		○
60	1/15	水	プレゼン資料集め		○
61	1/15	水	プレゼン資料集め		○
62	1/22	水	プレゼン資料集め		○
63	1/22	水	プレゼン資料集め		○
64	1/29	水	プレゼン資料集め		○
65	1/29	水	PPによるスライド作成		○
66	2/5	水	PPによるスライド作成		○
67	2/5	水	プレゼンテーション練習	○	
68	2/12	水	学年末試験	○	
69	2/19	水	プレゼンテーション練習		○
70	2/19	水	プレゼンテーション練習		

2024年度年間教育計画

面接指導施設：岩谷学園高等専修学校

教科	科目		期間	担当者
国語	現代の国語(2年次)	単位数： 1単位 [標準単位： 2単位]	年間	柴田
指導目標				
1 語彙力を高め、常用漢字の読み書きの定着を図る。				
2 様々な文章に接し、論理的に考えたり、深く共感したり、豊かに想像したりする力を伸ばす。				
3 自分の考えを深め、その思いを他者に伝える表現力を学び、社会の中で相互理解を深めていく力を育む				
スクーリング	全37回	面接指導： 9回 講義： 24回	教科書	第一出版 現代の国語
レポート	全6回	添削指導：講義に含む その他： 4回	学習図書	自校作成の教材資料 を使用
定期試験	あり	学期： 2回	副教材	なし
定期試験の 評価割合	総合的に判断します	評定算出方法 100法5段階評定		

回	日付	曜日	単元・学習内容	面接 指導	講義	レポート (締切期日)
1	4/16	火	オリエンテーション	○		第1回 (5/28〆切)
2	4/23	火	漢字演習	○		
3	4/30	火	「本当の自分」幻想(平野啓一郎) (理解・評論)	○		
4	5/7	火	「本当の自分」幻想(平野啓一郎) (理解・評論)		○	
5	5/14	火	「本当の自分」幻想(平野啓一郎) (理解・評論)		○	
6	5/21	火	「本当の自分」幻想(平野啓一郎) (理解・評論)		○	

7	5/28	火	前期中間試験			
8	6/4	火	砂に埋もれたル・コルビュジェ (原田マハ)(理解・文学)	○		第2回 (7/9㍻切)
9	6/11	火	砂に埋もれたル・コルビュジェ (原田マハ)(理解・文学)		○	
10	6/18	火	砂に埋もれたル・コルビュジェ (原田マハ)(理解・文学)		○	
11	6/25	火	砂に埋もれたル・コルビュジェ (原田マハ)(理解・文学)		○	
12	7/2	火	日本文学史		○	
13	7/9	火	前期期末試験			
14	7/16	火	前期の振り返り(1)		○	
15	7/23	火	前期の振り返り(2)		○	
16	8/27	火	ものごとば	○		
17	9/3	火	ものごとば(鈴木孝夫) (理解・評論)		○	
18	9/10	火	ものごとば(鈴木孝夫) (理解・評論)		○	
19	9/24	火	ものごとば(鈴木孝夫) (理解・評論)		○	
20	10/1	火	城の崎にて(志賀直哉) (理解・文学)	○		
21	10/8	火	城の崎にて(志賀直哉) (理解・文学)		○	
22	10/15	火	城の崎にて(志賀直哉) (理解・文学)		○	

23	10/22	火	城の崎にて(志賀直哉) (理解・文学)		○	第4回 (11/12☞切)
24	10/29	火	城の崎にて(志賀直哉) (理解・文学)		○	
25	11/5	火	城の崎にて(志賀直哉) (理解・文学)		○	
26	11/12	火	後期中間試験			
27	11/19	火	鏡(村上春樹)(理解・文学)	○		第5回 (12/24☞切)
28	11/26	火	鏡(村上春樹)(理解・文学)		○	
29	12/3	火	鏡(村上春樹)(理解・文学)		○	
30	12/10	火	鏡(村上春樹)(理解・文学)		○	
31	12/17	火	鏡(村上春樹)(理解・文学)		○	
32	12/24	火	鏡(村上春樹)(理解・文学)		○	
33	1/14	火	社会に関する意見文を書く(1)	○		第6回 (2/11☞切)
34	1/21	火	社会に関する意見文を書く(2)		○	
35	1/28	火	社会に関する意見文を書く(3)		○	
36	2/4	火	まとめ	○		
37	2/11	火	学年末試験			

2024年度年間教育計画

面接指導施設：岩谷学園高等専修学校

教科		科目		期間	担当者
国語		言語文化(2年次)		年間	久保田
		単位数：1単位 [標準単位：2単位]			
指導目標					
<p>1 生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。</p> <p>2 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。</p> <p>3 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。</p>					
スクーリング	全37回	面接指導：9回	講義：24回	教科書	第一出版 言語文化
レポート	全6回	添削指導：講義に含む	その他：4回	学習図書	自校作成の教材資料を使用
定期試験	あり	学期：2回		副教材	なし
定期試験の評価割合	総合的に判断します	評定算出方法 100法5段階評定			

回	日付	曜日	単元・学習内容	面接指導	講義	レポート (締切期日)
1	4/16	火	オリエンテーション	○		第1回 (5/28〆切)
2	4/23	火	古典常識	○		
3	4/30	火	「児のそら寝」(宇治拾遺物語) (説話)	○		
4	5/7	火	「児のそら寝」(宇治拾遺物語) (説話)		○	
5	5/14	火	「児のそら寝」(宇治拾遺物語) (説話)		○	
6	5/21	火	古文を読むために(1)		○	

7	5/28	火	前期中間試験			
8	6/4	火	「絵仏師良秀」(宇治拾遺物語)	○		第2回 (7/9〆切)
9	6/11	火	「絵仏師良秀」(宇治拾遺物語)		○	
10	6/18	火	「絵仏師良秀」(宇治拾遺物語)	○		
11	6/25	火	「絵仏師良秀」(宇治拾遺物語)		○	
12	7/2	火	古文を読むために(2)		○	
13	7/9	火	前期期末試験			
14	7/16	火	訓読に親しむ(一)	○		
15	7/23	火	訓読に親しむ(二)		○	
16	8/27	火	訓読に親しむ(三)		○	
17	9/3	火	「漁父之利」(戦国策)	○		
18	9/10	火	「漁父之利」(戦国策)		○	
19	9/24	火	「漁父之利」(戦国策)		○	
20	10/1	火	「漁父之利」(戦国策)	○		
21	10/8	火	「漁父之利」(戦国策)		○	
22	10/15	火	「漁父之利」(戦国策)		○	

23	10/22	火	「漁父之利」(戦国策)		○	第4回 (11/12☞切)
24	10/29	火	「漁父之利」(戦国策)		○	
25	11/5	火	中国文学史		○	
26	11/12	火	後期中間試験			
27	11/19	火	「東下り」(伊勢日記)	○		第5回 (12/24☞切)
28	11/26	火	「東下り」(伊勢日記)		○	
29	12/3	火	「東下り」(伊勢日記)		○	
30	12/10	火	「東下り」(伊勢日記)		○	
31	12/17	火	「その子二十」 (近現代の詩歌)	○		
32	12/24	火	「その子二十」 (近現代の詩歌)		○	
33	1/14	火	「その子二十」 (近現代の詩歌)	○		第6回 (2/11☞切)
34	1/21	火	「一つのメルヘン」(中原中也) (近現代の詩歌)		○	
35	1/28	火	「一つのメルヘン」(中原中也) (近現代の詩歌)		○	
36	2/4	火	まとめ	○		
37	2/11	火	学年末試験			

2024年度年間教育計画

面接指導施設：岩谷学園高等専修学校

教科	科目		期間	担当者
理科	生物基礎	単位数： 2単位 [標準単位： 2単位]	年間	佐々木 颯
指導目標				
1. 自然及び、生物に関する興味、関心を育む。				
2. 生物界の営みと人間生活の関わりについての理解を深める。				
3. 生物と日常生活や社会とを関連付けて科学的に探究する力を養う。				
スクーリング	全 70 回	面接指導： 13 回 講義： 57 回	教科書	数研出版 改訂版 新編 生物基礎
レポート	全 6 回	添削指導： 6 回 その他： 回	学習図書	自校作成の教材資料を使用
定期試験	あり	学 期： 2回	副教材	なし
定期試験の 評価割合	「総合的に判断します」	評定算出方法 100法5段階評定		

回	日付	曜日	単元・学習内容	面接 指導	講義	レポート (締切期日)
1	4/8	月	顕微鏡の名称	○		第1回 5/23
2	4/8	月	顕微鏡の名称		○	
3	4/15	月	生物の特徴	○		
4	4/15	月	生物の特徴		○	
5	4/22	月	生物の特徴		○	
6	4/22	月	生物の特徴		○	
7	5/6	月	生物の特徴		○	
8	5/6	月	生物の特徴		○	
9	5/13	月	生物の特徴		○	
10	5/13	月	生物の特徴		○	
11	5/20	月	生物の特徴		○	
12	5/20	月	生物の特徴		○	
13	5/23	木	前期中間試験	○		
14	5/27	月	生物の特徴		○	第2回 7/3
15	5/27	月	生物の特徴		○	

16	6/3	月	生物の特徴		○	
17	6/3	月	生物の特徴		○	
18	6/10	月	生物の特徴		○	
19	6/10	月	生物の特徴		○	
20	6/17	月	生物の特徴		○	
21	6/17	月	遺伝子とそのはたらき	○		
22	6/24	月	遺伝子とそのはたらき		○	
23	6/24	月	遺伝子とそのはたらき		○	
24	7/3	水	前期期末試験	○		
25	7/8	月	遺伝子とそのはたらき		○	
26	7/8	月	遺伝子とそのはたらき		○	
27	7/22	月	遺伝子とそのはたらき		○	
28	7/22	月	遺伝子とそのはたらき		○	
29	7/23	火	遺伝子とそのはたらき		○	
30	7/23	火	生物の体内環境とその維持	○		
31	8/26	月	生物の体内環境とその維持		○	
32	8/26	月	生物の体内環境とその維持		○	
33	9/2	月	生物の体内環境とその維持		○	
34	9/2	月	生物の体内環境とその維持		○	
35	9/9	月	生物の体内環境とその維持		○	
36	9/9	月	生物の体内環境とその維持		○	
37	9/30	月	生物の体内環境とその維持		○	
38	9/30	月	生物の体内環境とその維持		○	
39	10/7	月	生物の体内環境とその維持	○		
40	10/7	月	生物の体内環境とその維持		○	
41	10/21	月	生物の体内環境とその維持		○	

第3回
11/6

42	10/21	月	生物の体内環境とその維持		○		
43	10/28	月	生物の体内環境とその維持		○		
44	10/28	月	生物の体内環境とその維持		○		
45	11/6	水	後期中間試験	○		第4回 12/9	
46	11/11	月	生物の体内環境とその維持		○		
47	11/11	月	生物の体内環境とその維持		○		
48	11/18	月	免疫	○			
49	11/18	月	免疫		○		
50	11/25	月	免疫		○		
51	11/25	月	免疫		○		
52	12/2	月	免疫		○		
53	12/2	月	免疫		○		
54	12/9	月	免疫		○		
55	12/9	月	免疫		○		
56	12/16	月	生物の多様性と生態系	○			第5回 2/10
57	12/16	月	生物の多様性と生態系		○		
58	12/23	月	生物の多様性と生態系		○		
59	12/23	月	生物の多様性と生態系		○		
60	1/20	月	生物の多様性と生態系		○		
61	1/20	月	生物の多様性と生態系		○		
62	1/27	月	植生の多様性と分布	○			
63	1/27	月	植生の多様性と分布		○		
64	2/3	月	植生の多様性と分布		○		
65	2/3	月	植生の多様性と分布		○		
66	2/10	月	植生の多様性と分布		○		
67	2/10	月	生態系とその保全	○			

68	2/12	水	学年末試験	○		第6回 3/3
69	2/17	月	生態系とその保全		○	
70	3/3	月	生態系とその保全		○	

2024年度年間教育計画

面接指導施設：岩谷学園高等専修学校

教科		科目		期間	担当者
商業	プログラミング	単位数：2単位 [標準単位：単 位]		年間	前田
指導目標					
1 コンピュータを使ったデータ処理の仕組みについて理解させる。 2 プログラミングに関する知識と技術を習得させる。 3 体験的学習を通して創造力や論理的な思考力を育成する。 4 ビジネスの諸活動において、情報を合理的に処理しコンピュータを効果的に活用する能力と態度を育む。					
スクーリング	全70回	面接指導：16回 講義：52回	教科書	実教出版最新プログラミング	
レポート	全0回	添削指導：講義に含む その他：0回	学習図書	自校作成の教材資料を使用	
定期試験	あり	学期：1回	副教材	無し	
定期試験の 評価割合	『総合的に判断します』	評定算出方法 100法5段階評定			

回	日付	曜日	単元・学習内容	面接指導	講義	レポート (締切期日)
1	4/8	月	プログラミング応用 メソッドの利用	○		
2	4/10	水	クラスとメソッド		○	
3	4/15	月	mainメソッド	○		
4	4/17	水	メソッドの使い方		○	
5	4/22	月	配列の利用	○		
6	4/24	水	配列の考え方		○	
7	5/1	水	配列による集計		○	
8	5/8	水	配列の探索		○	
9	5/13	月	配列による順位付け	○		
10	5/15	水	配列による並べ替え		○	
11	5/20	月	二次元配列の考え方	○		
12	5/22	水	全商プログラミング検定問題	○		
13	5/27	月	全商プログラミング検定問題		○	
14	5/29	水	全商プログラミング検定問題		○	
15	6/3	月	全商プログラミング検定問題		○	
16	6/5	水	例外処理とストリーム	○		
17	6/10	月	例外処理とストリーム		○	
18	6/12	水	ファイルの入出力		○	
19	6/17	月	JAVAの活用		○	
20	6/19	水	ユーザインターフェイス		○	

21	6/24	月	フレームの作成		○
22	6/26	水	コンポーネントとコンテナ	○	
23	7/8	月	前期期末試験		
24	7/10	水	イベント処理		○
25	7/17	水	様々なコンポーネントの利用		○
26	7/22	月	全商プログラミング検定問題		○
27	8/26	月	全商プログラミング検定問題	○	
28	8/28	水	全商プログラミング検定問題		○
29	9/2	月	全商プログラミング検定問題		○
30	9/4	水	文字や画像などの処理	○	
31	9/9	月	文字列処理		○
32	9/11	水	画像の処理		○
33	9/18	水	図形の処理と描画		○
34	9/25	水	音声の処理		○
35	9/30	月	全商プログラミング検定問題		○
36	10/2	水	全商プログラミング検定問題	○	
37	10/4	金	全商プログラミング検定問題		○
38	10/7	月	全商プログラミング検定問題		○
39	10/9	水	ハードウェア		○
40	10/16	水	コンピュータの構成と特徴		○
41	10/21	月	データ構造		○
42	10/23	水	数値・文字の表現		○
43	10/28	月	論理演算		○
44	10/30	水	入出力装置	○	
45	11/11	月	補助記憶装置		○
46	11/13	水	プロセッサ	○	
47	11/18	月	全商プログラミング検定問題		○
48	11/20	水	全商プログラミング検定問題		○
49	11/25	月	全商プログラミング検定問題		○
50	11/27	水	全商プログラミング検定問題		○
51	12/2	月	ソフトウェア		○
52	12/4	水	ソフトウェアの体系		○
53	12/9	月	基本ソフトウェア		○
54	12/11	水	情報モラル		○
55	12/16	月	全商プログラミング検定問題	○	
56	12/18	水	全商プログラミング検定問題		○
57	12/23	月	全商プログラミング検定問題		○
58	12/25	水	全商プログラミング検定問題		○
59	1/8	水	プログラム実習		○
60	1/15	水	プログラム実習		○

61	1/16	木	卒業判定試験		○
62	1/22	水	プログラム実習		
63	1/17	金	プログラム実習		○
64	1/29	水	プログラム実習		○
65	2/3	月	プログラム実習		○
66	2/5	水	プログラム実習		○
67	2/10	月	プログラム実習	○	
68	2/12	水	プログラム実習	○	
69	2/14	金	プログラム実習		○
70	2/17	月	プログラム実習		○

2024年度年間教育計画

面接指導施設：岩谷学園高等専修学校

教科	科目		期間	担当者
商業	3年生課題研究	単位数：2単位 [標準単位：2 単位]	年間	佐々木 高橋 前田
指導目標				
1 商業や自分の進路、自己理解に関わる課題を設定し、その課題の解決を図る学習を通して、専門的な知識と技術の深化、総合化を図るとともに、問題解決の能力や自発的、創造的な学習態度を育てる。				
スクーリング	全70回	面接指導： 18回 講義： 50回	教科書	なし
レポート	なし	添削指導： 講義に含む その他： 回	学習図書	自校作成の教材資料を使用
定期試験	あり	学期： 1回	副教材	なし
定期試験の 評価割合	『総合的に判断します』	評定算出方法 100法5段階評定		

回	日付	曜日	単元・学習内容	面接指導	講義	レポート (締切期日)
1	4/9	火	防災学習	○		
2	4/9	火	連想トレーニング		○	
3	4/16	火	自己理解のための学習	○		
4	4/16	火	キャリア教育		○	
5	4/23	火	検定学習	○		
6	4/23	火	いじめアンケート実施		○	
7	4/30	火	面談(自己理解)		○	
8	4/30	火	検定学習		○	
9	5/7	火	検定学習	○		
10	5/7	火	進路学習		○	
11	5/14	火	検定学習	○		
12	5/14	火	パフォーマンスアセスメント	○		
13	5/21	火	PA面談(自己理解)		○	
14	5/21	火	検定学習		○	
15	5/28	火	PA面談(自己理解)		○	
16	5/28	火	自己検索シート	○		
17	6/4	火	検定学習		○	
18	6/4	火	キャリア学習		○	

19	6/11	火	キャリア学習		○
20	6/11	火	検定学習		○
21	6/18	火	検定学習	○	
22	6/18	火	検定学習	○	
23	6/25	火	検定学習	○	
24	6/25	火	キャリア学習		○
25	7/2	火	検定学習		○
26	7/2	火	検定学習		○
27	7/5	金	前期期末試験	○	
28	7/9	火	検定学習		○
29	7/9	火	選挙学習		○
30	7/16	火	キャリアレポート	○	
31	7/16	火	検定学習		○
32	8/27	火	検定学習		○
33	8/27	火	検定学習		○
34	9/3	火	キャリアレポート		
35	9/3	火	検定学習		○
36	9/10	火	検定学習	○	
37	9/10	火	面談(自己理解)		○
38	9/17	火	面談(自己理解)		○
39	9/17	火	検定学習		○
40	9/24	火	検定学習		○
41	9/24	火	検定学習	○	
42	10/1	火	面談(自己理解)	○	
43	10/1	火	検定学習		○
44	10/8	火	検定学習		○
45	10/8	火	キャリアレポート		○
46	10/15	火	キャリアレポート		○
47	10/15	火	人権に関する課題の学習		○
48	10/22	火	人権に関する課題の学習		○
49	10/22	火	人権に関する課題の学習		○
50	10/29	火	人権に関する課題の学習		○
51	10/29	火	人権に関する課題の学習		○
52	11/5	火	人権に関する課題の学習		○
53	11/5	火	自己理解		○
54	11/12	火	自己理解		○
55	11/12	火	自己理解	○	
56	11/19	火	ビジネスマナー		○

57	11/19	火	商品開発と知的財産		○
58	11/26	火	ビジネスとプレゼンテーションの技法		○
59	11/26	火	ビジネスとプレゼンテーションの技法		○
60	12/3	火	検定学習		○
61	12/3	火	卒業判定試験		○
62	12/10	火	面談(自己理解)		○
63	12/10	火	検定学習		○
64	12/17	火	検定学習		○
65	12/17	火	PPによるスライド作成		○
66	12/24	火	PPによるスライド作成		○
67	12/24	火	プレゼンテーション練習	○	
68	1/14	火	プレゼンテーション練習	○	
69	1/14	火	3年間のまとめ		○
70	1/17	金	卒業判定会議		

2023年度年間教育計画

面接指導施設：岩谷学園高等専修学校

教 科		科 目		期間	担当者
国語	言語文化(3年)	単位数：2単位 [標準単位： 2単位]	年間	久保田	
指導目標					
1 生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。 2 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。					
スクーリング	全70回	面接指導： 18回 講 義： 48回	教科書	第一学習社『言語文化』	
レポート	全6回	添削指導： 回 その他： 4回	学習図書	自校作成の教材資料を使用	
定期試験	あり	学 期： 2回	副教材	なし	
定期試験の 評価割合	『総合的に判断します』	評定算出方法 100法5段階評定			

回	日付	曜日	単元・学習内容	面接指導	講義	レポート (締切期日)
1	4/16	火	用言の活用	○		第1回 (5/21締切)
2	4/16	火	用言の活用		○	
3	4/23	火	用言の活用	○		
4	4/23	火	用言の活用		○	
5	4/30	火	「贅のうへ」	○		
6	4/30	火	「贅のうへ」		○	
7	5/7	火	「贅のうへ」		○	
8	5/7	火	「贅のうへ」		○	
9	5/14	火	自己紹介文・課題作文	○		
10	5/14	火	自己紹介文・課題作文		○	
11	5/21	火	自己紹介文・課題作文			
12	5/21	火	自己紹介文・課題作文	○		
13	5/22	水	前期中間試験		○	
14	5/28	火	「丹波に出雲といふ所あり」 (徒然草)		○	
15	5/28	火	「丹波に出雲といふ所あり」 (徒然草)		○	
16	6/4	火	「丹波に出雲といふ所あり」 (徒然草)	○		
17	6/4	火	「丹波に出雲といふ所あり」 (徒然草)		○	

18	6/11	火	「丹波に出雲といふ所あり」 (徒然草)		○	第2回 (7/4 ≒ 切)
19	6/11	火	「丹波に出雲といふ所あり」 (徒然草)		○	
20	6/18	火	小論文の書き方と作成		○	
21	6/18	火	小論文の書き方と作成		○	
22	6/25	火	小論文の書き方と作成			
23	6/25	火	小論文の書き方と作成	○		
24	7/4	火	前期期末試験		○	
25	7/9	火	「中納言参りたまひて」 (枕草子)		○	第3回 (9/17 ≒ 切)
26	7/9	火	「中納言参りたまひて」 (枕草子)	○		
27	7/16	火	「中納言参りたまひて」 (枕草子)		○	
28	7/16	火	「中納言参りたまひて」 (枕草子)	○		
29	8/27	火	「中納言参りたまひて」 (枕草子)		○	
30	8/27	火	「中納言参りたまひて」 (枕草子)	○		
31	9/3	火	敬語の用法		○	
32	9/3	火	敬語の用法		○	
33	9/10	火	敬語の用法		○	
34	9/10	火	敬語の用法		○	
35	9/17	火	敬語の用法	○		
36	9/17	火	敬語の用法		○	
37	10/1	火	敬語の用法		○	第4回 (11/5 ≒ 切)
38	10/1	火	敬語の用法		○	
39	10/8	火	敬語の用法		○	
40	10/8	火	「手紙文」		○	
41	10/15	火	「手紙文」		○	
42	10/15	火	「手紙文」		○	
43	10/22	火	「手紙文」	○		
44	10/22	火	「はしたなきもの」 (枕草子)		○	
45	10/29	火	「はしたなきもの」 (枕草子)	○		
46	10/29	火	「はしたなきもの」 (枕草子)	○		
47	11/5	火	後期中間試験		○	
48	11/5	火	「はしたなきもの」 (枕草子)		○	
49	11/10	金	「はしたなきもの」 (枕草子)			

50	11/12	火	「はしたなきもの」 (枕草子)		○	第5回 (12/17✕切)
51	11/12	火	「はしたなきもの」 (枕草子)		○	
52	11/19	火	「万葉集」		○	
53	11/19	火	「万葉集」		○	
54	11/26	火	「万葉集」	○		
55	11/26	火	「万葉集」		○	
56	12/3	火	「万葉集」		○	
57	12/3	火	「万葉集」		○	
58	12/10	火	「万葉集」		○	
59	12/10	火	「万葉集」		○	
60	12/17	火	「万葉集」		○	
61	12/17	火	「万葉集」		○	
62	1/14	火	「読書紹介文」		○	
63	1/14	火	「読書紹介文」			
64	1/21	火	「読書紹介文」	○		
65	1/21	火	卒業判定試験		○	
66	1/28	火	「文学史 (近代現代)」		○	
67	1/28	火	「文学史 (近代現代)」	○		
68	2/4	火	「文学史 (近代現代)」	○		
69	2/4	火	「文学史 (近代現代)」		○	
70	2/11	火	「文学史 (近代現代)」		○	

|

2024年度年間教育計画

面接指導施設：岩谷学園高等専修学校

教科		科目		期間	担当者	
商業科		ネットワーク活用		単位数：1 単位 [標準単位： 単位]	年間	渡邊・前田
指導目標						
<ul style="list-style-type: none"> 高度情報社会における企業の役割を理解させる。 情報通信ネットワークを活用した商取引の意義を理解させるとともに、それを行うための知識と技術を習得させる。 利用者の立場に立ったシステムを構築するため、コンピュータを効果的に活用する能力と態度を育てる。 						
スクーリング	全 35 回	面接指導： 12回 講義： 23回	教科書	実教出版 ネットワーク活用		
レポート	全 0回	添削指導：講義に含む その他： 0回	学習図書	自校作成の教材資料を使用		
定期試験	あり	学 期： 2回	副教材			
定期試験の 評価割合	総合的に判断する	評定算出方法 100法5段階評定				
回	日付	曜日	単元・学習内容	面接 指導	講義	レポート (締切期日)
1	4/8	月	第1章情報通信技術の進歩と ビジネス ガイダンス		○	
2	4/15	月	(1)ビジネスの変化 ビジネスの形態		○	
3	4/22	月	(1)ビジネスの変化 ビジネスの広告・広報活動		○	
4	5/6	月	(2)情報通信ネットワークの活用と課題 企業の役割と業務 個人情報と知的財産権の保護		○	
5	5/13	月	第2章コンテンツの制作 (1)ファイルの形式 図形・静止画ファイルの形式 動画・音声ファイルの形式		○	
6	5/20	月	(2)図形 基本図形・組織図・ グラフの取り込みと編集	○		
7	5/27	月	(3)静止画 静止画の取り込み・撮影方法・編集	○		
8	6/3	月	(4)動画 動画の取り込み・撮影方法・編集	○		
9	6/10	月	(5)音声 音声の取り込み	○		
10	6/17	月	(6)情報の統合 統合の方法・手順 統合の技法と活用	○		
11	6/24	月	第3章ウェブデザインと広告・広報 (1) ウェブページ制作までの手順		○	
12	7/3	水	前期期末試験		○	
13	7/8	月	(2) ウェブデザイン・設計・判定		○	
14	7/22	月	(3) ウェブページ制作の基礎		○	
15	7/23	月	(3) ウェブページ制作の基礎		○	

16	8/26	月	(4) ウェブページ制作の応用		○	
17	9/2	月	(4) ウェブページ制作の応用		○	
18	9/9	月	第4章ウェブページの公開 1 ネットワーク機器の種類と機能		○	
19	9/30	月	(2) 公開の方法		○	
20	10/7	月	(2) 公開の方法		○	
21	10/21	月	第5章電子商取引とビジネス (1) 電子商取引のしくみ		○	
22	10/28	月	(1) 電子商取引のしくみ		○	
23	11/11	月	(2) 企業間取引と企業体消費者間取引		○	
24	11/18	月	(2) 企業間取引と企業体消費者間取引		○	
25	11/25	月	(3) 電子決済のしくみと方法		○	
26	12/2	月	(3) 電子決済のしくみと方法		○	
27	12/9	月	(4) 電子商取引システムの作成	○		
28	12/23	月	(4) 電子商取引システムの作成	○		
29	1/20	月	(4) 電子商取引システムの作成	○		
30	1/27	月	(4) 電子商取引システムの作成	○		
31	2/3	月	(4) 電子商取引システムの作成	○		
32	2/10	月	テスト前授業振り返り		○	
33	2/12	木	学年末試験		○	
34	2/17	月	4) 電子商取引システムの作成	○		
35	3/3	月	4) 電子商取引システムの作成	○		

教科		科目		期間	担当者	
商業		マーケティング		単位数： 2 単位 [標準単位： 単位]	年間	渡邊 志の輔
指導目標 マーケティングに関する基礎的な知識と技術を習得させ、経済社会の一員としての望ましい心構えを身に付けさせるとともに、マーケティングの諸活動に適切に対応する能力と態度を育てる。						
スクーリング	全 70 回	面接指導： 16 回 講義： 50 回	教科書	実教出版 マーケティング		
レポート	全 0回	添削指導：講義に その他： 回	学習図書	自校作成の教材資料を使用		
定期試験	あり	学期： 1回	副教材			
定期試験の 評価割合	総合的に判断する	評定算出方法 100法5段階評定				
回	日付	曜日	単元・学習内容	面接 指導	講義	レポート (締切期日)
1	4/8	月	第1章現代市場とマーケティング ①現代市場のメカニズム	○		
2	4/12	金	②消費の動向	○		
3	4/15	月	③生産の動向		○	
4	4/19	金	④流通の動向		○	
5	4/22	月	⑤マーケティング内容と手順		○	
6	4/26	金	⑥マーケティングの発展		○	
7	5/6	月	第2章市場調査 ①市場調査の必要性		○	
8	5/13	月	②市場調査の内容		○	
9	5/17	金	③状況分析		○	
10	5/20	月	④予備調査		○	
11	5/27	月	⑤本調査		○	
12	5/31	金	⑥調査方法の決定	○		
13	6/3	月	⑦資料収集方法の決定			
14	6/7	金	⑧変化をとらえる調査方法	○		
15	6/10	月	第3章消費者行動 ①消費者による問題解決行動	○		
16	6/14	金	②購買とマーケティング行動		○	
17	6/17	月	③購買意思決定の要因		○	
18	6/21	金	④問題認識		○	
19	6/24	月	⑤情報探索と情報収集		○	
20	6/28	金	⑥選択肢の評価		○	
21	7/5	金	前期期末試験			
22	7/8	月	⑦購買行動		○	
23	7/12	金	⑧消費・使用と購買後の評価	○		
24	7/20	金	⑨製品のライフサイクル		○	
25	7/23	月	⑩製品の普及と顧客層の変化	○	○	
26	8/26	月	第9章販売促進 ①販売促進の役割		○	
27	8/30	金	②販売促進の内容			
28	9/2	月	③販売促進の進め方		○	
29	9/9	月	④広告の意義	○		

30	9/20	月	⑤広告の計画と実施	○	
31	9/27	金	⑥広告主体と内容		○
43	9/30	月	⑦広告のメディア		○
44	10/4	金	⑧販売員の特質	○	
45	10/7	月	⑨ソーシャルメディアの活用		
46	10/11	金	⑩販売員活動の手順	○	
47	10/18	金	⑪販売員に必要な資質と知識		○
48	10/21	月	⑫販売員の管理		○
49	10/25	金	⑬ブランドの意味		○
50	10/28	月	⑭ブランドの展開		○
51	11/1	金	⑮ブランドのライフサイクル		○
52	11/8	金	⑯ブランドの機能		○
53	11/11	月	⑰信用販売の意義		○
54	11/15	金	⑱信用販売の種類		○
55	11/18	月	⑲信用販売の難しさ		○
56	11/22	金	⑳クレジットカードによる販売		○
57	11/25	月	㉑社会的問題への対応		○
58	11/30	金	㉒ソーシャルメディアの活用	○	
59	12/2	月	㉓ビッグデータの活用	○	
60	12/6	金	㉔販売サービスの実施		○
61	12/9	月	㉕イベントの開催		○
62	12/13	金	第8章販売経路		○
63	12/16	月	①販売経路と販売経路政策の意味	○	
64	12/20	金	②販売経路の形態	○	
65	12/23	月	③販売経路を設定する基準		○
66	1/10	金	④販売経路政策の種類		○
67	1/17	金	卒業判定試験		○
68	1/23	金	⑤販売経路の強化の方向性		○
69	1/27	月	⑥販売経路の系列化		○
70	1/31	金	⑦販売経路の短縮化	○	

2024年度年間教育計画

面接指導施設：岩谷学園高等専修学校

教科		科目		期間	担当者		
外国語	英語コミュニケーションI	単位数： 4 単位 [標準単位： 単位]	年間	小島一公、小池久夫、倉田紋、			
指導目標							
1. 日常的な話題について、聞いたことや読んだことを理解する 2. 情報や考えなどを英語で話したり書いたりして伝える基礎的な能力を養う 3. 積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育てる							
スクーリング	全 70 回	面接指導： 16 回 講義： 50 回	教科書	All Aboard! Communication English I			
レポート	全 12 回	添削指導：講義に含む その他： 4 回	学習図書	自校作成の教材資料を使用			
定期試験	あり	学 期： 2 回	副教材	All Aboard! Communication English I ワークブック			
定期試験の 評価割合	総合的に判断する	評定算出方法 100法5段階評定					
回	日付	曜日	単元・学習内容	面接 指導	講義	レポート (締切期日)	
1	4/11	木	Warm up1	○		第1,2,3 回 (5/17)	
2	4/12	金			○		
3	4/18	木	Warm up2	○			
4	4/19	金			○		
5	4/25	木	Pre-Lesson1 Be 動詞 Pre-Lesson2 一般動詞	○			
6	4/26	金			○		
7	5/2	木			○		
8	5/9	木			○		
9	5/16	木			○		
10	5/17	金			○		
11	5/23	木	前期中間試験			第4,5,6 回 (6/28)	
12	5/30	木	Pre-Lesson2 一般動詞	○			
13	5/31	金			○		
14	6/6	木			○		
15	6/7	金			○		
16	6/13	木		Lesson1 動詞の過去形 不規則変化動詞の習得	○		
17	6/14	金					○
18	6/20	木			○		
19	6/21	金			○		
20	6/27	木		○			
21	6/28	金		○			
22	7/4	木	前期期末試験			Lesson2 現在進行形	
23	7/7	金	Lesson2 現在進行形	○			
24	7/11	木			○		
25	7/12	金			○		
26	7/18	木		○			
27	7/19	金	Reading1 読み物	○			
28	8/29	木			○		
29	9/30	金			○		

30	9/6	木	Reading1 読み物	○			
31	9/12	木					○
32	9/26	木					○
33	9/27	金					○
34	10/3	木					○
35	10/4	金					○
36	10/10	木	Lesson3 助動詞について	○		第7、8回 (11/1)	
37	10/11	金					○
38	10/17	木					○
39	10/18	金					○
40	10/24	木					○
41	10/25	金					○
42	10/31	木					○
43	11/1	金			○		
44	11/7	木	後期中間試験			第9,10回 (12/12)	
45	11/8	金	Reading2 読み物				○
46	11/14	木		○			
47	11/15	金					○
48	11/21	木					○
49	11/22	金					○
50	11/28	木					○
51	11/29	金					○
52	12/5	木					○
53	12/6	金					○
54	12/12	木				○	
55	12/13	金	Lesson4 不定詞の用法	○		第11,12回 (2/13)	
56	12/19	木					○
57	12/20	金					○
58	1/9	木					○
59	1/10	金					○
60	1/22	木					○
61	1/23	金					○
62	1/30	木					○
63	1/31	金					○
64	2/6	木					○
65	2/7	金			○		
66	2/13	木	学年末試験	○	○		
67	2/20	木	1年生の総復習				
68	2/27	木		○			
69	2/28	金					○
70	3/6	木					○

2024年度年間教育計画

面接指導施設：岩谷学園高等専修学校

教科		科目		期間	担当者	
外国語		英語コミュニケーションⅡ		単位数： 4 単位 [標準単位： 単位]	年間 小島一公、小池久夫、倉田紋	
指導目標						
1. 日常的な話題について、聞いたことや読んだことを理解する 2. 情報や考えなどを英語で話したり書いたりして伝える基礎的な能力を養う 3. 積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育てる						
スクーリング	全 105 回	面接指導： 30 回 講義： 71 回	教科書	All Aboard! Communication English II		
レポート	全 12 回	添削指導： 講義に含む その他： 4回	学習図書	自校作成の教材資料を使用		
定期試験	あり	学期： 2回	副教材	All Aboard! Communication English II ワークブック		
定期試験の 評価割合	総合的に判断する	評定算出方法 100法5段階評定				
回	日付	曜日	単元・学習内容	面接 指導	講義	レポート (締切期日)
1	4/8	月	All Aboard! Communication English I Lesson5 動名詞	○		第1,2回 (5/16)
2	4/11	木				
3	4/12	金				
4	4/15	月				
5	4/18	木				
6	4/19	金				
7	4/22	月				
8	4/25	木				
9	4/26	金				
10	5/2	木				
11	5/6	月				
12	5/9	木				
13	5/13	月				
14	5/16	木				
15	5/17	金				
16	5/20	月				
17	5/23	木	前期中間試験			
18	5/27	月	All Aboard! Communication English I Lesson6 受動態		○	第3,4回 (6/27)
19	5/30	木				
20	5/31	金				
21	6/3	月				
22	6/6	木				
23	6/7	金				
24	6/10	月				
25	6/13	木				
26	6/14	金				
27	6/17	月				
28	6/20	木				
29	6/21	金				

30	6/24	月	All Aboard! Communication English I Lesson7 比較表現		○	
31	6/27	木			○	
32	6/28	金			○	
33	7/4	木	前期期末試験			
34	7/8	月	All Aboard! Communication English I Lesson8 現在完了形	○		第5.6回 (9/30)
35	7/7	金			○	
36	7/11	木			○	
37	7/12	金			○	
38	7/18	木			○	
39	7/19	金			○	
40	8/26	月			○	
41	8/29	木			○	
42	9/30	金			○	
43	9/2	月			○	
44	9/6	木			○	
45	9/9	月			○	
46	9/12	木			○	
47	9/26	木			○	
48	9/27	金			○	
49	9/30	月		○		
50	10/3	木	AllAboard! CommunicationEnglish I Lesson9 名詞を後ろから説明する分詞		○	第7,8,9回 (11/1)
51	10/4	金			○	
52	10/7	月			○	
53	10/10	木			○	
54	10/11	金			○	
55	10/17	木			○	
56	10/18	金			○	
57	10/21	月			○	
58	10/24	木			○	
59	10/25	金			○	
60	10/28	月			○	
61	10/31	木			○	
62	11/1	金			○	
63	11/7	木	後期中間試験			
64	11/8	金	AllAboard! CommunicationEnglish I Lesson10 関係代名詞	○		第7,8,9回 (12/19)
65	11/11	月			○	
66	11/14	木			○	
67	11/15	金			○	
68	11/18	月			○	
69	11/21	木			○	
70	11/22	金			○	
71	11/25	月			○	
72	11/28	木			○	
73	11/29	金			○	
74	12/2	月			○	
75	12/5	木			○	
76	12/6	金			○	
77	12/9	月			○	
78	12/12	木			○	

79	12/13	金			○	
80	12/16	月			○	
81	12/19	木		○		
82	12/20	金			○	
83	12/23	月			○	
84	1/9	木	AllAboard! CommunicationEnglish II Lesson1 関係代名詞		○	第10,11,12回 (2/10)
85	1/10	金			○	
86	1/20	月		○		
87	1/22	木			○	
88	1/23	金			○	
89	1/27	月		○		
90	1/30	木			○	
91	1/31	金			○	
92	2/3	月			○	
93	2/6	木		○		
94	2/7	金		○		
95	2/10	月		○		
96	2/13	木	学年末試験			
97	2/17	月	1年間の復習		○	
98	2/20	木			○	
99	2/21	金			○	
100	2/27	木		○		
101	2/28	金			○	
102	3/3	月		○		
103	3/6	木			○	
104	3/7	金			○	
105	3/10	月		○		

2024年度年間教育計画

面接指導施設：岩谷学園高等専修学校

教科	科目		期間	担当者
外国語	英語コミュニケーションⅡ (3年生)	単位数： 4 単位 [標準単位： 単位]	年間	小島一公、小池久夫、倉田紋

指導目標

1. 日常的な話題について、聞いたことや読んだことを理解する
2. 情報や考えなどを英語で話したり書いたりして伝える基礎的な能力を養う
3. 積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育てる

スクーリング	全 105 回	面接指導： 29 回 講義： 72 回	教科書	All Aboard! Communication English II
レポート	全 12 回	添削指導： 講義に含む その他： 4回	学習図書	自校作成の教材資料を使用
定期試験	あり	学期： 2回	副教材	All Aboard! Communication English II ワークブック
定期試験の 評価割合	総合的に判断する	評定算出方法 100法5段階評定		

回	日付	曜日	単元・学習内容	面接指導	講義	レポート (締切期日)
1	4/8	月	All Aboard! Communication English II Lesson2 With the Beatles ・比較表現 Lesson3 Wild men ・it の用法	○		第1,2回 (5/16)
2	4/11	木				
3	4/12	金				
4	4/15	月				
5	4/18	木				
6	4/19	金				
7	4/22	月				
8	4/25	木				
9	4/26	金				
10	5/2	木				
11	5/6	月				
12	5/9	木				
13	5/13	月				
14	5/16	木				
15	5/17	金				
16	5/20	月				
17	5/23	木	前期中間試験			
18	5/27	月	All Aboard! Communication English II Lesson 4 Little Hero ・間接疑問文		○	第3,4回
19	5/30	木				
20	5/31	金				
21	6/3	月				
22	6/6	木				
23	6/7	金				
24	6/10	月				
25	6/13	木				
26	6/14	金				
27	6/17	月				
28	6/20	木				

29	6/21	金			○	(6/27)
30	6/24	月			○	
31	6/27	木			○	
32	6/28	金			○	
33	7/4	木	前期期末試験			
34	7/8	月	Lesson5	○		第5.6回 (9/30)
35	7/7	金	・to 不定詞を含む表現		○	
36	7/11	木		○		
37	7/12	金		○		
38	7/18	木			○	
39	7/19	金			○	
40	8/26	月		○		
41	8/29	木			○	
42	8/30	金			○	
43	9/2	月			○	
44	9/6	木			○	
45	9/9	月	Lesson6	○		第7,8,9回 (11/1)
46	9/12	木			○	
47	9/26	木	Seeds for Future Generations		○	
48	9/27	金			○	
49	9/30	月	・動詞の目的語になる if 節		○	
50	10/3	木			○	
51	10/4	金		○		
52	10/7	月			○	
53	10/10	木		○		
54	10/11	金			○	
55	10/17	木	Lesson7		○	
56	10/18	金	Over the wall		○	
57	10/21	月			○	
58	10/24	木	・関係副詞	○		
59	10/25	金			○	
60	10/28	月			○	
61	10/31	木			○	
62	11/1	金		○		
63	11/7	木	後期中間試験			
64	11/8	金	Lesson8	○		第7,8,9回 (11/1)
65	11/11	月			○	
66	11/14	木	Inspiration from Nature		○	
67	11/15	金			○	
68	11/18	月	・知覚動詞		○	
69	11/21	木		○		
70	11/22	金	Lesson9		○	
71	11/25	月			○	
72	11/28	木	The Bitter Truth behind Chocolate	○		
73	11/29	金			○	
74	12/2	月			○	
75	12/5	木		○		
76	12/6	金			○	

77	12/9	月			○	第 10.11.12 回 (1/10)
78	12/12	木			○	
79	12/13	金			○	
80	12/16	月			○	
81	12/19	木		○		
82	12/20	金			○	
83	12/23	月			○	
84	1/9	木			○	
85	1/10	金			○	
86	1/17	金	卒業判定試験			
87	1/20	月	Lesson 10 Fighting Angel ・分詞構文	○		
88	1/22	木			○	
89	1/23	金			○	
90	1/27	月			○	
91	1/30	木			○	
92	1/31	金			○	
93	2/3	月			○	
94	2/6	木			○	
95	2/7	金			○	
96	2/10	月			○	
97	2/13	木		○		
98	2/17	月	3年間の復習		○	
99	2/20	木			○	
100	2/21	金			○	
101	2/27	木			○	
102	2/28	金			○	
103	3/3	月			○	
104	3/6	木			○	
105	3/7	金		○		

2024年度年間教育計画

面接指導施設：岩谷学園高等専修学校

教科	科目		期間	担当者
芸術	音楽	単位数： 2単位 [標準単位： 単位]	年間	岡崎 久恵

指導目標

- 音楽の幅広い活動を通して、生徒が個性を生かしながら思いや意図をもって表現したり味わって鑑賞したりする力を育成し、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育てる。
- 音楽が醸し出すよさや美しさなどを感じ取り、そこに価値を見いだせる感性を養う。
- 音や音楽を知覚・感受し、思考・判断する能力をはぐくみ、表現と鑑賞の能力を伸ばす。
- 音楽と生活とのかかわりについて考え、音環境への関心を高める。

中学校音楽科の学習を踏まえ、楽曲固有のよさや美しさなどを味わうだけでなく、文化的・歴史的背景についても理解し、広い視野で音楽を捉えて、我が国及び諸外国の音楽文化への理解を深める。

スクーリング	全 35 回	面接指導： 16回 講義： 17回	教科書	音楽 I 改訂版 Tutti(教育出版)
レポート	全 6 回	添削指導：講義に含む その他： 2回	学習図書	自校作成の教材資料を使用
定期試験	あり	学 期： 1回	副教材	なし
定期試験の 評価割合	総合的に判断します	評定算出方法 100法5段階評定		

回	日付	曜日	単元・学習内容	面接指導	講義	レポート (締切期日)
1	4/12	金	音楽鑑賞 (合唱曲)	○		第 1,2,3 回 (6/21 締め切り)
2	4/19	金	東海大学付属望星高等学校 DVD 視聴	○		
3	4/26	金	東海大学付属望星高等学校 DVD 視聴		○	
4	5/10	金	音楽鑑賞 (日本歌謡)	○		
5	5/17	金	音楽鑑賞 (日本歌謡)		○	
6	5/24	金	音楽鑑賞 (クラシック)	○		
7	5/31	金	音楽鑑賞 (クラシック)		○	
8	6/7	金	東海大学付属望星高等学校 DVD 視聴		○	
9	6/14	金	音楽鑑賞 (クラシック)		○	
10	6/21	金	東海大学付属望星高等学校 DVD 視聴		○	
11	6/28	金	歌唱 (世界に一つだけの花)			第 4,5,6 回 (2/21 締め切り)
12	7/5	金	前期末試験	○		
13	7/12	金	東海大学付属望星高等学校 DVD 視聴		○	
14	7/19	金	歌唱 (上を向いて歩こう)	○		
15	8/30	金	音楽鑑賞 (クラシック)		○	
16	9/6	金	歌唱 (少年時代)	○		
17	9/13	金	歌唱 (心の瞳)	○		
18	9/20	金	歌唱 (ふるさと)	○		
19	9/27	金	音楽鑑賞 (クラシック)		○	
20	10/4	金	音楽鑑賞 (クラシック)		○	
21	10/11	金	歌唱 (Santa Lucia)	○		
22	10/18	金	歌唱 (浜辺の歌)	○		
23	10/25	金	音楽鑑賞 (荒城の月)	○		
24	11/1	金	音楽鑑賞 (クラシック)		○	
25	11/8	金	歌唱 (冬景色)	○		
26	11/15	金	音楽鑑賞 (CATS)	○		
27	11/22	金	音楽鑑賞 (CATS)		○	

28	11/29	金	音楽鑑賞 (サウンドオブミュージック)	○		
29	12/6	金	音楽鑑賞 (サウンドオブミュージック)		○	
30	12/13	金	音楽鑑賞 (洋楽)	○		
31	12/20	金	音楽鑑賞 (洋楽)		○	
32	1/10	金	音楽鑑賞 (邦楽)			
33	1/17	金	音楽鑑賞 (邦楽)		○	
34	1/24	金	学年末試験		○	
35	1/31	金	音楽鑑賞 (邦楽)		○	

2024年度年間教育計画

面接指導施設:岩谷学園高等専修学校

教科	科目		期間	担当者
公民科	公共	単位数:3単位 [標準単位: 3単位]	年間	津崎
指導目標				
<p>1 考察・選択・判断のための手掛かりとなる概念・理論を理解し、諸資料から必要な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付ける。</p> <p>2 現実社会の諸課題の解決に向けて、事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断する力や、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論する力を養う。</p> <p>3 よりよい社会の実現を視野に、現代社会の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、各国が相互に主権を尊重し、各国民が協力し合うことの大切さについての自覚などを深める。</p>				
スクーリング	全70回	面接指導: 17回 講義: 53回	教科書	実教出版 公共
レポート	全6回	添削指導: 講義に含む その他: 4回	学習図書	自校作成の教材資料を使用
定期試験	あり	学期: 2回	副教材	なし
定期試験の評価割合	『総合的に判断します』	評定算出方法 100法5段階評定		

回	日付	曜日	単元・学習内容	面接指導	講義	レポート (締切期日)
1	4/8	月	第1部 公共の扉 第1章 社会を作る私たち 1 青年期とは	○		第1回
2	4/9	火	2 自己形成の課題1		○	
3	4/15	月	3 自己形成の課題2	○		
4	4/16	火	4 職業生活と社会参加		○	
5	4/22	月	5 伝統・文化と私たち	○		
6	4/23	火	第2章 人間としてよく生きる 1 古代ギリシアの人間観		○	
7	4/30	火	2 科学と人間		○	
8	5/6	月	3 自由の実現		○	
9	5/7	火	4 社会を作る人間	○		
10	5/13	月	第3章 他社とともに生きる 1 人間と幸福		○	第2回
11	5/14	火	2 公正な社会をめざして	○		
12	5/20	月	第4章 民主社会の倫理 1 人間の尊厳と平等	○		
13	5/21	火	2 自由・権利と責任・義務		○	
14	5/23	木	前期中間試験		○	
15	5/27	月	第5章 民主国家における基本原理 1 民主政治の成立		○	
16	5/28	火	2 民主政治の基本原理	○		
17	6/3	月	3 民主政治のしくみと課題		○	
18	6/4	火	4 世界の主な政治制度		○	

19	6/10	月	第2部 よりよい社会の形成に参加する私たち 1 現代の民主政治と日本国憲法 第1章 日本国憲法の基本的性格 1 日本国憲法の成立		○	第3回
20	6/11	火	2 日本国憲法の基本的性格		○	
21	6/17	月	3 自由に生きる権利		○	
22	6/18	火	4 平等に生きる権利	○		
23	6/24	月	5 社会権と参政権・請求権	○		
24	6/25	火	6 新しい人権		○	
25	7/2	火	7 人権の広がりと公共の福祉		○	第4回
26	7/3	水	前期期末試験		○	
27	7/8	月	8 平和主義とわが国の安全	○		
28	7/9	火	9 こんにちの防衛問題		○	
29	7/16	火	第2章 日本の政治機構と政治参加 1 政治機構と国会		○	
30	7/22	月	2 行政権と行政機能の拡大	○		
31	7/23	火	3 公正な裁判の保障		○	第5回
32	9/2	月	4 地方自治と住民福祉		○	
33	9/3	火	5 政党政治		○	
34	9/9	月	6 選挙制度		○	
35	9/10	火	7 世論と政治参加		○	
36	9/17	火	2 現代の経済社会と国民生活 第1章 現代の経済社会 1 経済主体と経済活動の意義	○		
37	9/24	火	2 経済社会の変容		○	第6回
38	9/30	月	3 市場のしくみ		○	
39	10/1	火	4 市場の失敗		○	
40	10/7	月	5 現代の企業		○	
41	10/8	火	6 国民所得		○	
42	10/15	火	7 経済成長と国民の福祉		○	
43	10/21	月	8 金融の役割		○	第7回
44	10/22	火	9 日本銀行の役割	○		
45	10/28	月	10 財政の役割と租税		○	
46	10/29	火	11 日本の財政の課題	○		
47	11/5	火	第2章 日本経済の特質と国民生活 1 戦後日本経済の成長と課題		○	
48	11/6	水	後期中間試験		○	
49	11/11	月	2 転機に立つ日本経済		○	第7回
50	11/12	火	3 経済社会の変化と中小企業		○	
51	11/18	月	4 農業と食料問題		○	
52	11/19	火	5 消費者問題		○	
53	11/25	月	6 公害の防止と環境保全		○	
54	11/26	火	7 労働問題と労働者の権利		○	
55	12/2	月	8 こんにちの労働問題	○		
56	12/3	火	Active 望ましい働き方を実現するために		○	
57	12/9	月	9 社会保障の役割		○	

58	12/10	火	10 社会保障制度の課題		○	第8回
59	12/16	月	Active これからの福祉社会 を考える		○	
60	12/17	火	Active 安心して暮らせる豊 かな社会をめざして		○	
61	12/23	月	3 国際社会と人類の課題 第1章 国際政治の動向と課題 1 国際社会と国際法		○	
62	12/24	火	2 国際連合と国際協力		○	
63	1/14	火	3 こんにちはの国際政治		○	
64	1/20	月	4 人権・民族問題		○	
65	1/21	火	5 軍拡競争から軍縮へ		○	
66	1/27	月	6 国際平和と日本の役割		○	第9回
67	1/28	火	第2章 国際経済の動向と課題 1 貿易と国際収支 2 外国為替市場のしくみ	○		
68	2/3	月	3 第二次世界大戦後の国際経 済 4 地域的経済統合の進展	○		
69	2/4	火	5 国際経済のつながりと課題 6 発展途上国の諸課題と日本 の役割		○	
70	2/12	月	学年末試験		○	

2024年度年間教育計画

面接指導施設：岩谷学園高等専修学校

教科	科目		期間	担当者
芸術	書道	単位数：2 単位 [標準単位： 単位]	年間	古谷 瑞江

指導目標
書道の幅広い活動を通して、社会の中の文字や書に興味・関心を持つことができるようにする。

スクーリング	全 70 回	面接指導：26 回 講義：42 回	教科書	光村図書
レポート	全 6 回	添削指導：講義に含む その他：2 回	学習図書	自校作成の教材資料を使用
定期試験	あり	学期：1 回	副教材	なし
定期試験の 評価割合	総合的に判断する	評定算出方法 100法5段階評定		

回	日付	曜日	単元・学習内容	面接指導	講義	レポート (締切期日)
1	4/12	金	ガイダンス		○	第1回(5/17)
2	4/12	金	書写から書道へ		○	
3	4/19	金	漢字の書体と変遷		○	
4	4/19	金	初唐の三大家		○	
5	4/26	金	書体と書風の違い		○	
6	4/26	金	唐の四大家		○	
7	5/10	金	孔子廟堂碑		○	
8	5/10	金	孔子廟堂碑	○		
9	5/17	金	九成宮醴泉銘		○	
10	5/17	金	九成宮醴泉銘	○		
11	5/31	金	雁塔聖教序		○	第2回 第3回 (7/5)
12	5/31	金	雁塔聖教序	○		
13	6/7	金	顔氏家廟碑		○	
14	6/7	金	顔氏家廟碑	○		
15	6/14	金	硬筆		○	
16	6/14	金	平仮名・片仮名	○		
17	6/21	金	硬筆		○	
18	6/21	金	楷書	○		
19	6/28	金	楷書	○		
20	6/28	金	楷書	○		
21	7/5	金	前期期末試験			第4回(10/25)
22	7/12	金	行書の特徴		○	
23	7/12	金	行書の基本		○	
24	7/19	金	蘭亭序		○	
25	7/19	金	蘭亭序		○	
26	8/30	金	三筆		○	
27	8/30	金	三跡		○	
28	9/6	金	風信帖		○	
29	9/6	金	風信帖		○	
30	9/13	金	草書		○	
31	9/13	金	真草千字文		○	

32	9/20	金	隸書		○	
33	9/20	金	曹全碑	○		
34	9/27	金	篆書		○	
35	9/27	金	泰山刻石	○		
36	10/4	金	漢字の創作	○		
37	10/4	金	漢字の創作	○		
38	10/11	金	仮名の成立と種類		○	
39	10/11	金	仮名の基本線		○	
40	10/18	金	仮名		○	
41	10/18	金	平仮名		○	
42	10/25	金	仮名		○	
43	10/25	金	変体仮名		○	
44	11/1	金	仮名		○	
45	11/1	金	連綿	○		
46	11/8	金	仮名		○	
47	11/8	金	古筆に見る仮名の表現	○		
48	11/15	金	仮名		○	
49	11/15	金	蓬萊切	○		
50	11/22	金	仮名		○	
51	11/22	金	高野切第三種	○		
52	11/29	金	漢字仮名交じりの書		○	
53	11/29	金	伝達から表現へ		○	
54	12/6	金	漢字仮名交じりの書		○	
55	12/6	金	イメージを文字で表現する		○	
56	12/13	金	漢字仮名交じりの書		○	
57	12/13	金	創作1	○		
58	12/20	金	創作2	○		
59	12/20	金	創作3	○		
60	1/10	金	硬筆			
61	1/10	金	手紙の書き方	○		
62	1/17	金	卒業判定試験	○		
63	1/24	金	硬筆	○		
64	1/24	金	はがきの書き方	○		
65	1/31	金	硬筆実用書1		○	
66	1/31	金	硬筆実用書2		○	
67	2/7	金	硬筆実用書3		○	
68	2/7	金	卒業制作	○		
69	2/14	金	卒業制作	○		
70	2/14	金	卒業制作	○		

第5回
第6回
(1/10)

2024年度年間教育計画

面接指導施設：岩谷学園高等専修学校

教科		科目		期間	担当者	
情報	情報 I	単位数：2 単位 [標準単位：単位]	年間	前田		
指導目標						
1. 情報リテラシー、メディアリテラシー、情報モラルの育成をする。 2. 情報セキュリティについての理解を深め、実践できるように知識・技術の習得をする。 3. 情報社会特有の法規についての理解を深める。 4. 情報機器や情報通信ネットワークなどの適切な扱い方の知識・技術の習得をする。 5. 全商ビジネス文書実務検定3級の受験を目指す。						
スクーリング	全 70 回	面接指導：28 回 講義：38 回	教科書	図説情報 I		
レポート	全 6 回	添削指導：講義に含む その他：4 回	学習図書	自校作成の教材資料を使用		
定期試験	あり	学期：2 回	副教材	学習と検定 全商情報処理検定3級 全商ビジネス文書実務検定3級模擬試験問題集		
定期試験の 評価割合	総合的に判断する	評定算出方法 100法5段階評定				
回	日付	曜日	単元・学習内容	面接 指導	講義	レポート (締切期日)
1	4/17	水	情報と情報社会の特徴		○	第1回 (5/15)
2	4/17	水	情報科の進展と情報技術		○	
3	4/24	水	情報社会における個人の責任		○	
4	4/24	水	問題解決の手順		○	
5	5/1	水	文書検定 速度実習	○		
6	5/1	水	文書検定 文書実習	○		
7	5/8	水	情報の収集と整理		○	
8	5/8	水	情報の分析		○	
9	5/15	水	文書検定 速度実習	○		
10	5/15	水	文書検定 文書実習	○		
11	5/23	水	前期中間試験			
12	5/29	水	情報の管理と保護		○	第2回 (6/26)
13	5/29	水	知的財産権と産業財産権		○	
14	6/5	水	著作権		○	
15	6/12	水	認証とパスワード		○	
16	6/12	水	情報の暗号化	○		
17	6/19	水	コンピュータウイルスと対策		○	
18	6/19	水	文書検定 速度実習	○		
19	6/26	水	文書検定 文書実習	○		
20	6/26	水	メディアの機能と特性		○	
21	7/3	水	前期期末試験			
22	7/10	水	効果的なコミュニケーション		○	第3回 (9/25)
23	7/10	水	インターネット上のコミュニケーション		○	
24	7/17	水	情報デザインの考え方		○	
25	7/17	水	表現の工夫		○	
26	8/28	水	デジタル表現の特徴		○	
27	8/28	水	文書検定 速度実習	○		
28	9/4	水	文書検定 文書実習	○		
29	9/4	水	2進数と情報量		○	

30	9/11	水	数値の表現		○	第4回 (11/20)
31	9/11	水	文字のデジタル表現		○	
32	9/18	水	音の表現		○	
33	9/18	水	画像の表現		○	
34	9/25	水	動画の表現とファイル形式		○	
35	9/25	水	さまざまな情報機器		○	
36	10/2	水	ハードウェアとソフトウェア		○	
37	10/2	水	アルゴリズム		○	
38	10/9	水	アルゴリズムの基本構造		○	
39	10/9	水	簡単なプログラムの作成①	○		
40	10/16	水	簡単なプログラムの作成②	○		
41	10/16	水	プログラムと変数①		○	
42	10/23	水	プログラムと変数②	○		
43	10/23	水	配列とリスト①		○	
44	10/30	水	配列とリスト②	○		
45	10/30	水	関数①		○	
46	11/6	水	後期中間試験			
47	11/13	水	エクセル実習	○		
48	11/13	水	関数②		○	
49	11/20	水	エクセル実習	○		
50	11/20	水	モデル化の基礎		○	
51	11/27	水	モデル化 (図的モデル)	○		
52	11/27	水	シミュレーションの基礎		○	
53	12/4	水	シミュレーション (確定的モデル、確率的モデル)	○		
54	12/4	水	データの収集	○		
55	12/11	水	データの分析	○		
56	12/11	水	インターネットの構成とプロトコル		○	
57	12/18	水	インターネットの仕組み		○	
58	12/18	水	さまざまな情報システム		○	
59	1/8	水	データの流れと情報システム		○	
60	1/8	水	データベースとデータモデル①	○		
61	1/15	水	データベースとデータモデル②	○		
62	1/15	水	情報セキュリティと対策		○	
63	1/22	水	暗号技術①	○		
64	1/22	水	暗号技術②	○		
65	1/29	水	学年末試験			
66	2/5	水	スライドの制作と発表①	○		
67	2/5	水	スライドの制作と発表②	○		
68	2/12	水	スライドの制作と発表③	○		
69	2/19	水	スライドの制作と発表④	○		
70	2/19	水	スライドの制作と発表⑤	○		

2024年度年間教育計画

教科	科目	期間	担当者			
数学	数学Ⅰ	単位数： 2単位	年間 村越 平井 飯村			
		[標準単位：2単位]				
指導目標 三角形の図形やデータの分析、命題について理解させ、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、 数学のよさを認識できるようにするとともに、それらを活用しようとする態度を育てる。						
スクーリング	全70回	面接指導 15回 講義 51回	教科書 新 高校の数学Ⅰ 数研出版			
レポート	全6回	添削指導：講義に含む その他：4回	学習図書 自校作成の 教材資料			
定期試験	あり	学期：2回	副教材 なし			
定期試験の 評価割合	総合的に判断します	評定算出方法 100法5段階評定				
回	日付	曜日	単元・学習内容	面接 指導	講義	レポート (締切期日)
1	4月9日	火	第1章 整式 1節 整式 \times 字を使った式	○		第1回 (5/21)
2	4月12日	金	整式 単項式 多項式	○		
3	4月16日	火	整式の加法・減法	○		
4	4月19日	金	整式の乗法		○	
5	4月23日	火	乗法公式		○	
6	4月26日	金	因数分解		○	
7	4月30日	火	因数分解		○	
8	5月7日	火	いろいろな因数分解		○	
9	5月14日	火	復習問題		○	
10	5月17日	金	平方根		○	
11	5月21日	火	復習問題		○	第2回 (7/2)
12	5月24日	金	プレテスト			
13	5月28日	火	前期中間試験	○		
14	5月31日	金	平方根	○		
15	6月4日	火	根号を含む計算		○	
16	6月7日	金	復習問題		○	
17	6月11日	火	1次方程式		○	
18	6月14日	金	1次方程式の利用		○	
19	6月18日	火	不等式		○	
20	6月21日	金	不等式		○	
21	6月25日	火	不等式の性質		○	第3回 (7/19)
22	6月28日	金	不等式の性質		○	
23	7月2日	火	プレテスト	○		
24	7月5日	金	不等式の解き方			
25	7月9日	火	前期期末試験	○		
26	7月12日	金	不等式の解き方		○	
27	7月16日	火	いろいろな不等式		○	
28	7月19日	金	不等式の利用		○	

2024年度年間教育計画

29	8月27日	火	不等式の利用		○	第3回 (9/20)
30	8月30日	金	2次方程式とその解き方		○	
31	9月3日	火	2次方程式とその解き方		○	
32	9月10日	火	因数分解を利用する解き方		○	
33	9月17日	火	解の公式を用いる解き方		○	
34	9月20日	金	解の公式を用いる解き方	○		
35	9月24日	火	連立不等式	○		第4回 (10/27)
36	9月27日	金	連立不等式		○	
37	10月1日	火	復習問題		○	
38	10月4日	金	関数		○	
39	10月8日	火	2次関数とそのグラフ		○	
40	10月15日	火	2次関数とそのグラフ		○	
41	10月18日	金	2次関数とそのグラフ		○	
42	10月22日	火	プレテスト		○	
43	10月25日	金	2次関数とそのグラフ		○	
44	10月29日	火	2次関数とそのグラフ		○	
45	11月1日	金	2次関数とそのグラフ	○		第5回 (12/6)
46	11月5日	火	2次関数とそのグラフ	○		
47	11月7日	木	2次関数とそのグラフ			
48	11月8日	金	後期中間試験	○		
49	11月12日	火	2次関数とそのグラフ		○	
50	11月15日	金	2次関数とそのグラフ		○	
51	11月19日	火	復習問題		○	
52	11月22日	金	2次関数の値の変化		○	
53	11月26日	火	2次関数の最大最小		○	
54	11月29日	金	2次関数のグラフと2次方程式		○	
55	12月3日	火	2次関数のグラフと2次方程式		○	第6回 (2/14)
56	12月6日	金	2次関数のグラフと2次方程式	○		
57	12月10日	火	2次関数のグラフと2次方程式	○		
58	12月13日	金	2次関数のグラフの2次不等式		○	
59	12月17日	火	2次関数のグラフの2次不等式		○	
60	12月20日	金	2次関数のグラフの2次不等式		○	
61	12月24日	火	復習問題		○	
62	1月10日	金	まとめ		○	
63	1月14日	火	2次関数のグラフの2次不等式		○	
64	1月21日	火	2次関数のグラフの2次不等式		○	
65	1月24日	金	2次関数のグラフの2次不等式		○	
66	1月28日	火	2次関数のグラフの2次不等式		○	
67	1月31日	金	いろいろな2次不等式	○		
68	2月4日	火	グラフの共有点	○		
69	2月7日	金	プレテスト	○		
70	2月14日	金	学年末試験			

2024年度年間教育計画

教科	科目	期間	担当者			
数学	数学Ⅰ	年間	村越 平井 飯村			
		単位数： 2単位 [標準単位：2単位]				
指導目標 三角形の図形やデータの分析、命題について理解させ、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、 数学のよさを認識できるようにするとともに、それらを活用しようとする態度を育てる。						
スクーリング	全70回	面接指導 17回 講義 49回	教科書 新 高校の数学Ⅰ 数研出版			
レポート	全6回	添削指導：講義に含む その他：4回	学習図書 自校作成の 教材資料			
定期試験	あり	学期：2回	副教材 なし			
定期試験の 評価割合	総合的に判断します	評定算出方法 100法5段階評定				
回	日付	曜日	単元・学習内容	面接 指導	講義	レポート (締切期日)
1	4月9日	火	三角関数	○		第1回 (5/21)
2	4月12日	金	三角関数	○		
3	4月16日	火	三角関数	○		
4	4月19日	金	タンジェント		○	
5	4月23日	火	タンジェント		○	
6	4月26日	金	タンジェント		○	
7	4月30日	火	タンジェント		○	
8	5月7日	火	サイン・コサイン		○	
9	5月14日	火	サイン・コサイン		○	
10	5月17日	金	サイン・コサイン		○	
11	5月21日	火	サイン・コサイン		○	
12	5月24日	金	前期中間試験			第2回 (7/2)
13	5月28日	火	三角比の利用	○		
14	5月31日	金	三角比の利用	○		
15	6月4日	火	プレテスト		○	
16	6月7日	金	三角比の利用		○	
17	6月11日	火	三角比の利用		○	
18	6月14日	金	三角比の相互関係		○	
19	6月18日	火	三角比の相互関係		○	
20	6月21日	金	三角比の相互関係		○	
21	6月25日	火	三角比の相互関係		○	
22	6月28日	金	三角形の面積		○	
23	7月2日	火	三角形の面積	○		
24	7月5日	金	前期期末試験			
25	7月9日	火	三角形の面積	○		

26	7月12日	金	三角形の面積		○	第3回 (9/20)
27	7月16日	火	三角形の面積		○	
28	7月19日	金	三角形の面積		○	
29	8月27日	火	三角形の面積		○	
30	8月30日	金	正弦定理		○	
31	9月3日	火	正弦定理		○	
32	9月10日	火	正弦定理		○	
33	9月17日	火	正弦定理		○	
34	9月20日	金	正弦定理	○		
35	9月24日	火	正弦定理	○		第4回 (10/27)
36	9月27日	金	余弦定理		○	
37	10月1日	火	余弦定理		○	
38	10月4日	金	余弦定理		○	
39	10月8日	火	余弦定理		○	
40	10月15日	火	余弦定理		○	
41	10月18日	金	余弦定理		○	
42	10月22日	火	余弦定理		○	
43	10月25日	金	三角比と座標		○	
44	10月29日	火	集合		○	第5回 (12/6)
45	11月1日	金	集合	○		
46	11月5日	火	集合	○		
47	11月7日	木	後期中間試験			
48	11月8日	金	集合	○		
49	11月12日	火	命題と集合		○	
50	11月15日	金	命題と集合		○	
51	11月19日	火	命題と集合		○	
52	11月22日	金	命題と集合		○	
53	11月26日	火	命題と証明		○	第6回 (2/14)
54	11月29日	金	命題と証明		○	
55	12月3日	火	命題と証明		○	
56	12月6日	金	命題と証明	○		
57	12月10日	火	命題と証明	○		
58	12月13日	金	データと度数分布表		○	
59	12月17日	火	データと度数分布表		○	
60	12月20日	金	代表値		○	
61	12月24日	火	代表値		○	
62	1月10日	金	代表値		○	
63	1月14日	火	四分位数と箱ひげ図		○	
64	1月21日	火	四分位数と箱ひげ図		○	
65	1月24日	金	四分位数と箱ひげ図		○	
66	1月28日	火	分散と標準偏差		○	
67	1月31日	金	分散と標準偏差	○		
68	2月4日	火	分散と標準偏差	○		
69	2月7日	金	復習	○		
70	2月14日	金	学年末テスト			

2024 年度年間教育計画

面接指導施設：

教 科		科 目		期間	担当者
商業科	総合実践 3 年	単位数： 4 単位 [標準単位： 単位]		年間	渡邊 志の輔
指導目標					
<ul style="list-style-type: none"> ・パソコンを使った文書・資料作成などの実務スキルを身に付ける。 ・パソコンを活用した仕事・作業について理解する。 ・2年生で学習した簿記の知識をさらに深める ・全経簿記検定、全商ビジネス文書実務検定等の合格を目指す。 					
スクーリング	全 140 回	面接指導： 68 回 講 義： 68 回	教科書	なし	
レポート	全 0 回	添削指導： 回 その他： 回	学習図書	自校作成の教材資料を使用	
定期試験	あり	学 期： 4 回	副教材	全経過去問シリーズ簿記能力検定試験 ビジネス文書実務検定試験過去問題	
定期試験の 評価割合	総合的に判断する	評定算出方法 100法5段階評定			

回	日付	曜日	単元・学習内容	面接 指導	講義	レポート (締切期日)
1	4/8	月	全経簿記検定 3 級 復習		○	
2	4/8	月	全経簿記検定 3 級 復習		○	
3	4/11	木	全経簿記検定 3 級 復習		○	
4	4/11	木	全経簿記検定 3 級 復習		○	
5	4/15	月	文書実務検定速度実習	○		
6	4/15	月	文書実務検定速度実習	○		
7	4/18	木	全経簿記検定 3 級 復習		○	
8	4/18	木	全経簿記検定 3 級 復習		○	
9	4/22	月	文書実務検定文書実習	○		
10	4/22	月	文書実務検定文書実習	○		
11	4/25	木	全経簿記検定 3 級		○	
12	4/25	木	全経簿記検定 3 級		○	
13	5/2	木	文書実務検定速度実習	○		
14	5/2	木	文書実務検定文書実習	○		
15	5/6	月	文書実務検定速度実習	○		
16	5/6	月	文書実務検定文書実習	○		
17	5/9	木	全経簿記検定 3 級		○	
18	5/9	木	全経簿記検定 3 級		○	
19	5/13	月	文書実務検定試験筆記対策	○		
20	5/13	月	文書実務検定試験筆記対策	○		
21	5/16	木	全経簿記検定 3 級		○	
22	5/16	木	全経簿記検定 3 級		○	
23	5/20	月	文書実務検定試験筆記対策	○		
24	5/20	月	文書実務検定試験筆記対策	○		
25	5/24	水	前期中間試験			
26	5/27	月	全経簿記検定 3 級		○	
27	5/27	月	全経簿記検定 3 級		○	
28	5/30	木	文書実務検定速度実習	○		
29	5/30	木	文書実務検定文書実習	○		
30	6/3	月	全経簿記検定 3 級		○	

31	6/3	月	全経簿記検定3級		○
32	6/6	木	文書実務検定速度実習	○	
33	6/6	木	文書実務検定文書実習	○	
34	6/10	月	全経検定対策		○
35	6/10	月	全経検定対策		○
36	6/13	木	文書実務検定速度実習	○	
37	6/13	木	文書実務検定文書実習	○	
38	6/17	月	全経検定対策		○
39	6/17	月	全経検定対策		○
40	6/20	木	Wordを使った実習	○	
41	6/20	木	Wordを使った実習	○	
42	6/24	月	全経検定対策		○
43	6/24	月	全経検定対策		○
44	6/27	木	Wordを使った実習	○	
45	6/27	木	Wordを使った実習	○	
46	7/4	木	前期期末試験		○
47	7/7	月	全経検定対策		○
48	7/7	月	全経検定対策		
49	7/11	木	全経検定振り返り		○
50	7/11	木	全経検定振り返り		○
51	7/18	木	Wordを使った実習	○	
52	7/18	木	Wordを使った実習	○	
53	7/22	月	全経簿記復習		○
54	7/22	月	全経簿記復習		○
55	8/26	月	Wordを使った簿記学習のまとめ	○	
56	8/26	月	Wordを使った簿記学習のまとめ	○	
57	8/29	木	全経簿記 学習		○
58	8/29	木	全経簿記 学習		○
59	9/2	月	文書実務検定速度実習		○
60	9/2	月	文書実務検定文書実習		○
61	9/5	木	全経簿記 学習		○
62	9/5	木	全経簿記 学習		○
63	9/9	月	文書実務検定速度実習	○	
64	9/9	月	文書実務検定文書実習	○	
65	9/12	木	全経簿記 学習		○
66	9/12	木	全経簿記 学習		○
67	9/19	木	全経簿記 学習		○
68	9/19	木	全経簿記 学習		○
69	9/26	木	文書実務検定速度実習	○	
70	9/26	木	文書実務検定文書実習	○	
71	9/30	月	全経簿記 学習		○
72	9/30	月	全経簿記 学習		○
73	10/3	木	文書実務検定試験筆記対策	○	
74	10/3	木	文書実務検定試験筆記対策	○	
75	10/7	月	全経簿記 学習		○
76	10/7	月	全経簿記 学習		○
77	10/10	木	全経簿記 学習		○
78	10/10	木	全経簿記 学習		○
79	10/17	木	文書実務検定速度実習	○	
80	10/17	木	文書実務検定文書実習	○	
81	10/21	月	全経検定対策		○

82	10/21	月	全経検定対策		○
83	10/24	木	文書実務検定速度実習	○	
84	10/24	木	文書実務検定文書実習	○	
85	10/28	月	全経検定対策		○
86	10/28	月	全経検定対策		○
87	10/31	木	文書実務検定速度実習	○	
88	10/31	木	文書実務検定文書実習	○	
89	11/7	木	後期中間試験	○	
90	11/11	月	文書実務検定速度実習	○	
91	11/11	月	文書実務検定文書実習		
92	11/14	木	PowerPoint 実習	○	
93	11/14	木	PowerPoint 実習	○	
94	11/18	月	全経検定対策		○
95	11/18	月	全経検定対策		○
96	11/21	木	PowerPoint 実習	○	
97	11/21	木	PowerPoint 実習	○	
98	11/25	月	全経検定対策		○
99	11/25	月	全経検定対策		○
100	11/28	木	PowerPoint 実習	○	
101	11/28	木	PowerPoint 実習	○	
102	12/2	月	全経簿記復習		○
103	12/2	月	全経簿記復習		○
104	12/5	木	PowerPoint を使った簿記学習のまとめ	○	
105	12/5	木	PowerPoint を使った簿記学習のまとめ	○	
106	12/9	月	全経簿記 学習		○
107	12/9	月	全経簿記 学習		○
108	12/12	木	PowerPoint を使った簿記学習のまとめ	○	
109	12/12	木	PowerPoint を使った簿記学習のまとめ	○	
110	12/16	月	全経簿記 学習		○
111	12/16	月	全経簿記 学習		○
112	12/19	木	PowerPoint を使った簿記学習のまとめ	○	
113	12/19	木	PowerPoint を使った簿記学習のまとめ	○	
114	12/23	月	全経簿記 学習		○
115	12/23	月	全経簿記 学習		○
116	1/9	木	全経簿記 学習		○
117	1/9	木	全経簿記 学習		○
118	1/10	金	文書実務検定速度実習	○	
119	1/10	金	文書実務検定文書実習	○	
120	1/16	木	卒業判定試験		○
121	1/23	木	全経簿記 学習		○
122	1/23	木	全経簿記 学習	○	
123	1/27	月	文書実務検定速度実習	○	
124	1/27	月	文書実務検定文書実習		
125	1/30	木	全経簿記 学習		○
126	1/30	木	全経簿記 学習		○
127	2/3	月	文書実務検定文書実習	○	
128	2/3	月	文書実務検定文書実習	○	
129	2/5	木	全経簿記 学習		○
130	2/5	木	全経簿記 学習		○
131	2/10	月	文書実務検定試験筆記対策	○	
132	2/10	月	文書実務検定試験筆記対策	○	

133	2/13	木	全経簿記 学習		○	
134	2/13	木	全経簿記 学習		○	
135	2/17	月	文書実務検定試験筆記対策	○		
136	2/17	月	文書実務検定試験筆記対策	○		
137	2/20	木	学習の振り返り	○		
138	2/20	木	学習の振り返り	○		
139	2/21	金	学習の振り返り	○		
140	2/21	金	学習の振り返り	○		

2024 年度年間教育計画

面接指導施設：岩谷学園高等専修学校

教 科		科 目		期 間	担 当 者	
商業科	総合実践 2 年	単位数： 4 単位 [標準単位： 単位]	年間	渡邊		
指導目標						
<ul style="list-style-type: none"> ・パソコンを使った文書・資料作成などの実務スキルを身に付ける。 ・パソコンを活用した仕事・作業について理解する。 ・2年生で学習した簿記やPCの知識をさらに深める 						
スクーリング	全 140 回	面接指導： 68 回 講義： 68 回	教科書	なし		
レポート	全 0 回	添削指導： 回 その他： 回	学習図書	自校作成の教材資料を使用		
定期試験	あり	学 期： 4 回	副教材	全経過去問シリーズ簿記能力検定試験 ビジネス文書実務検定試験過去問題		
定期試験の 評価割合	総合的に判断する	評定算出方法 100法5段階評定				
回	日付	曜日	単元・学習内容	面接 指導	講義	レポート (締切期日)
1	4/8	月	全商情報処理検定3級 復習		○	
2	4/8	月	全商情報処理検定3級 復習		○	
3	4/11	木	全商情報処理検定3級 復習		○	
4	4/11	木	全商情報処理検定3級 復習		○	
5	4/15	月	文書実務検定速度実習	○		
6	4/15	月	文書実務検定速度実習	○		
7	4/18	木	全商情報処理検定3級 復習		○	
8	4/18	木	全商情報処理検定3級 復習		○	
9	4/22	月	文書実務検定文書実習	○		
10	4/22	月	文書実務検定文書実習	○		
11	4/25	木	全商情報処理検定3級		○	
12	4/25	木	全商情報処理検定3級		○	
13	5/2	木	文書実務検定速度実習	○		
14	5/2	木	文書実務検定文書実習	○		
15	5/6	月	文書実務検定速度実習	○		
16	5/6	月	文書実務検定文書実習	○		
17	5/9	木	全商情報処理検定3級		○	
18	5/9	木	全商情報処理検定3級		○	
19	5/13	月	文書実務検定試験筆記対策	○		
20	5/13	月	文書実務検定試験筆記対策	○		
21	5/16	木	全商情報処理検定3級		○	
22	5/16	木	全商情報処理検定3級		○	
23	5/20	月	文書実務検定試験筆記対策	○		
24	5/20	月	文書実務検定試験筆記対策	○		
25	5/24	水	前期中間試験			
26	5/27	月	全商情報処理検定3級		○	
27	5/27	月	全商情報処理検定3級		○	
28	5/30	木	文書実務検定速度実習	○		
29	5/30	木	文書実務検定文書実習	○		
30	6/3	月	全商情報処理検定3級		○	
31	6/3	月	全商情報処理検定3級		○	

32	6/6	木	文書実務検定速度実習	○	
33	6/6	木	文書実務検定文書実習	○	
34	6/10	月	全経検定対策		○
35	6/10	月	全経検定対策		○
36	6/13	木	文書実務検定速度実習	○	
37	6/13	木	文書実務検定文書実習	○	
38	6/17	月	全経検定対策		○
39	6/17	月	全経検定対策		○
40	6/20	木	Word を使った実習	○	
41	6/20	木	Word を使った実習	○	
42	6/24	月	全経検定対策		○
43	6/24	月	全経検定対策		○
44	6/27	木	Word を使った実習	○	
45	6/27	木	Word を使った実習	○	
46	7/4	木	全経検定対策		○
47	7/7	月	全経検定対策		○
48	7/7	月	前期期末試験		
49	7/11	木	全経検定振り返り		○
50	7/11	木	全経検定振り返り		○
51	7/18	木	Word を使った実習	○	
52	7/18	木	Word を使った実習	○	
53	7/22	月	全商情報処理検定復習		○
54	7/22	月	全商情報処理検定復習		○
55	8/26	月	Word を使った簿記学習のまとめ	○	
56	8/26	月	Word を使った簿記学習のまとめ	○	
57	8/29	木	全商情報処理検定 学習		○
58	8/29	木	全商情報処理検定 学習		○
59	9/2	月	文書実務検定速度実習		○
60	9/2	月	文書実務検定文書実習		○
61	9/5	木	全商情報処理検定 学習		○
62	9/5	木	全商情報処理検定 学習		○
63	9/9	月	文書実務検定速度実習	○	
64	9/9	月	文書実務検定文書実習	○	
65	9/12	木	全商情報処理検定 学習		○
66	9/12	木	全商情報処理検定 学習		○
67	9/19	木	全商情報処理検定 学習		○
68	9/19	木	全商情報処理検定 学習		○
69	9/26	木	文書実務検定速度実習	○	
70	9/26	木	文書実務検定文書実習	○	
71	9/30	月	全商情報処理検定 学習		○
72	9/30	月	全商情報処理検定 学習		○
73	10/3	木	文書実務検定試験筆記対策	○	
74	10/3	木	文書実務検定試験筆記対策	○	
75	10/7	月	全商情報処理検定 学習		○
76	10/7	月	全商情報処理検定 学習		○
77	10/10	木	全商情報処理検定 学習		○
78	10/10	木	全商情報処理検定 学習		○
79	10/17	木	文書実務検定速度実習	○	
80	10/17	木	文書実務検定文書実習	○	
81	10/21	月	全経検定対策		○
82	10/21	月	全経検定対策		○

83	10/24	木	文書実務検定速度実習	○	
84	10/24	木	文書実務検定文書実習	○	
85	10/28	月	全経検定対策		○
86	10/28	月	全経検定対策		○
87	10/31	木	文書実務検定速度実習	○	
88	10/31	木	文書実務検定文書実習	○	
89	11/7	木	文書実務検定速度実習	○	
90	11/11	月	文書実務検定文書実習	○	
91	11/11	月	PowerPoint 実習	○	
92	11/14	木	PowerPoint 実習	○	
93	11/14	木	後期中間試験		
94	11/18	月	全経検定対策		○
95	11/18	月	全経検定対策		○
96	11/21	木	PowerPoint 実習	○	
97	11/21	木	PowerPoint 実習	○	
98	11/25	月	全経検定対策		○
99	11/25	月	全経検定対策		○
100	11/28	木	PowerPoint 実習	○	
101	11/28	木	PowerPoint 実習	○	
102	12/2	月	全商情報処理検定復習		○
103	12/2	月	全商情報処理検定復習		○
104	12/5	木	PowerPoint を使った簿記学習のまとめ	○	
105	12/5	木	PowerPoint を使った簿記学習のまとめ	○	
106	12/9	月	全商情報処理検定 学習		○
107	12/9	月	全商情報処理検定 学習		○
108	12/12	木	PowerPoint を使った簿記学習のまとめ	○	
109	12/12	木	PowerPoint を使った簿記学習のまとめ	○	
110	12/16	月	全商情報処理検定 学習		○
111	12/16	月	全商情報処理検定 学習		○
112	12/19	木	PowerPoint を使った簿記学習のまとめ	○	
113	12/19	木	PowerPoint を使った簿記学習のまとめ	○	
114	12/23	月	全商情報処理検定 学習		○
115	12/23	月	全商情報処理検定 学習		○
116	1/9	木	文書実務検定速度実習	○	
117	1/9	木	文書実務検定文書実習	○	
118	1/10	金	全商情報処理検定 学習		○
119	1/10	金	全商情報処理検定 学習		○
120	1/16	木	文書実務検定速度実習	○	
121	1/23	木	文書実務検定文書実習	○	
122	1/23	木	全商情報処理検定 学習		○
123	1/27	月	全商情報処理検定 学習		○
124	1/27	月	文書実務検定文書実習	○	
125	1/30	木	文書実務検定文書実習	○	
126	1/30	木	全商情報処理検定 学習		○
127	2/3	月	全商情報処理検定 学習		○
128	2/3	月	文書実務検定試験筆記対策	○	
129	2/5	木	文書実務検定試験筆記対策	○	
130	2/5	木	全商情報処理検定 学習		○
131	2/10	月	全商情報処理検定 学習		○
132	2/10	月	文書実務検定試験筆記対策	○	
133	2/13	木	文書実務検定試験筆記対策	○	

134	2/13	木	学年末試験			
135	2/17	月	全商情報処理検定 学習	○		
136	2/17	月	全商情報処理検定 学習	○		
137	2/20	木	文書実務検定試験筆記対策	○		
138	2/20	木	文書実務検定試験筆記対策	○		
139	2/21	金	全商情報処理検定 学習	○		
140	2/21	金	全商情報処理検定 学習	○		

2024 年度年間教育計画

面接指導施設：岩谷学園高等専修学校

教科		科目		期間	担当者		
総合的な探究の時間		総合的な探究の時間		単位数： 2 単位 [標準単位： 単位]	年間		
指導目標 自ら課題を見つけ、学び、考え、主体的に判断することを通し、学び方やものの考え方を身に付け、問題解決に対し、主体的、創造的、協同的に取り組む態度を育てる。また進路学習や他者との関わり方も学び、自己のあり方や生き方、他者との共存について考えることができるようにする。							
70	全 35 回	面接指導：26 回 講義：44 回	教科書	なし、			
レポート	全 8 回	添削指導：講義に含む その他：	学習図書	自校作成の教材資料を使用、SST 教材			
定期試験	なし	学 期： 回	副教材	なし			
定期試験の 評価割合	総合的に判断します	評定算出方法 合・否					
回	日付	曜日	単元・学習内容	面接 指導	講義	レポート (締切期日)	
1	4/12	金	進路学習	○		第1回 (5/17)	
2	4/12	金			○		
3	4/19	金			○		
4	4/19	金			○		
5	4/26	金	SST (親との付き合い方)	○		第2回 (7/12)	
6	4/26	金			○		
7	5/10	金	SNS 学習	○			第3回 (10/11)
8	5/10	金			○		
9	5/17	金	SNS 学習	○		第2回 (7/12)	
10	5/17	金			○		
11	5/31	金	面接練習	○			第2回 (7/12)
12	5/31	金			○		
13	6/7	金			○		
14	6/7	金			○		
15	6/14	金	進路学習	○		第2回 (7/12)	
16	6/14	金			○		
17	6/21	金	進路学習		○		第2回 (7/12)
18	6/21	金			○		
19	6/27	金	SST (人との距離感)	○		第2回 (7/12)	
20	6/27	金			○		
21	7/5	金	相談の仕方	○			第2回 (7/12)
22	7/5	金			○		
23	7/12	金	お礼の伝え方	○		第2回 (7/12)	
24	7/12	金			○		
25	7/19	金	タブレット学習 (アンケート作成)	○			第3回 (10/11)
26	7/19	金			○		
27	8/30	金			○		
28	8/30	金			○		
29	9/6	金	人権講演会		○		

30	9/6	金			○	
31	9/20	金	SST (スケジュール計画の方法)	○		
32	9/20	金				○
33	9/27	金	選挙学習	○		
34	9/27	金				○
35	10/4	金	SNS 学習	○		
36	10/4	金				○
37	10/11	金	進路学習	○		
38	10/11	金				○
39	10/18	金	タブレット学習 (アンケート集計)	○		第4回 (11/22)
40	10/18	金				○
41	10/25	金				○
42	10/25	金				○
43	11/1	金	挨拶練習	○		
44	11/1	金				○
45	11/8	金	休憩の仕方	○		
46	11/8	金				○
47	11/15	金	SST (キャリア形成について)	○		
48	11/15	金				○
49	11/22	金	タブレット学習 (プログラミング)	○		
50	11/22	金				○
51	11/29	金				○
52	11/29	金			○	第5回 (1/10)
53	12/6	金	進路学習	○		
54	12/6	金				○
55	12/13	金			○	
56	12/13	金				○
57	12/20	金	報告の仕方	○		
58	12/20	金				○
59	1/10	金	SST (親との付き合い方)	○		
60	1/10	金				○
61	1/24	金	タブレット学習 (プレゼン準備)	○		第6回 (2/21)
62	1/24	金				○
63	1/31	金				○
64	1/31	金				○
65	2/7	金				○
66	2/7	金				○
67	2/14	金	進路学習	○		
68	2/14	金				○
69	2/21	金	SST (敬語)	○		
70	2/21	金				○

2024年度年間教育計画

面接指導施設：岩谷学園高等専修学校

教科	科目		期間	担当者
保健体育	体育	単位数： 3 単位 [標準単位： 単位]	年間	佐藤すもも 石黒宏始 岡野萌々子
指導目標				
心と体を一体としてとらえ、健康・安全や運動についての理解と運動の合理的な実践を通して、生涯にわたって計画的に運動に親しむ資質や能力を育てる				
スクーリング	全 105 回	面接指導： 81回 講義： 24回	教科書	大修館書店「現代高等保健体育」
レポート	全 3 回	添削指導：講義に含む その他： 回	学習図書	自校作成の教材資料を使用
定期試験	あり	学期： 1回	副教材	大修館書店「ステップアップ高校スポーツ」
定期試験の評価割合	『総合的に判断します』	評定算出方法 100法5段階評定		

回	日付	曜日	単元・学習内容	面接指導	講義	レポート (締切期日)
1	4/18	木	シラバス		○	
2	4/18	木	ガイダンス		○	
3	4/18	木	ガイダンス		○	
4	4/25	木	体づくり運動			
5	4/25	木	体づくり運動	○		
6	4/25	木	体づくり運動	○		
7	5/2	木	体育理論			
8	5/2	木	体育理論	○		
9	5/2	木	体育理論	○		
10	5/9	木	体づくり運動			
11	5/9	木	体づくり運動	○		
12	5/9	木	体づくり運動	○		
13	5/16	木	体育理論		○	
14	5/16	木	体育理論		○	

15	5/16	木	体育理論		○
16	5/30	木	体づくり運動		○
17	5/30	木	体づくり運動	○	
18	5/30	木	体づくり運動	○	
19	6/13	木	体育理論		○
20	6/13	木	体育理論		○
21	6/13	木	体育理論		○
22	6/20	木	球技 (バスケットボール)		○
23	6/20	木	球技 (バスケットボール)	○	
24	6/20	木	球技 (バスケットボール)	○	
25	6/27	木	球技 (バスケットボール)	○	
26	6/27	木	球技 (バスケットボール)	○	
27	6/27	木	球技 (バスケットボール)	○	
28	7/4	木	前期期末試験	○	
29	7/11	木	球技 (バスケットボール)	○	
30	7/11	木	球技 (バスケットボール)	○	
31	7/11	木	球技 (バスケットボール)	○	
32	7/18	木	球技 (バスケットボール)	○	
33	7/18	木	球技 (バスケットボール)	○	
34	7/18	木	球技 (バスケットボール)	○	
35	8/29	木	球技 (バスケットボール)	○	
36	8/29	木	球技 (バスケットボール)		○
37	8/29	木	球技 (バスケットボール)		○
38	9/5	木	陸上競技		○
39	9/5	木	陸上競技	○	
40	9/5	木	陸上競技	○	
41	9/12	木	陸上競技	○	
42	9/12	木	陸上競技	○	
43	9/12	木	陸上競技	○	
44	9/19	木	陸上競技	○	
45	9/19	木	陸上競技	○	

第1回(8/29)

46	9/19	木	陸上競技	○	
47	9/26	木	陸上競技	○	
48	9/26	木	陸上競技	○	
49	9/26	木	陸上競技	○	
50	10/3	木	陸上競技	○	
51	10/3	木	陸上競技	○	
52	10/3	木	陸上競技	○	
53	10/10	木	陸上競技	○	
54	10/10	木	陸上競技	○	
55	10/10	木	陸上競技	○	
56	10/17	木	陸上競技	○	
57	10/17	木	陸上競技	○	
58	10/17	木	陸上競技	○	
59	10/24	木	陸上競技		○
60	10/24	木	ダンス		○
61	10/24	木	ダンス	○	
62	10/31	木	ダンス	○	
63	10/31	木	ダンス	○	
64	10/31	木	ダンス	○	
65	11/14	木	ダンス	○	
66	11/14	木	ダンス	○	
67	11/14	木	ダンス		○
68	11/21	木	球技 (バレーボール)		○
69	11/21	木	球技 (バレーボール)	○	
70	11/21	木	球技 (バレーボール)	○	
71	11/28	木	球技 (バレーボール)	○	
72	11/21	木	球技 (バレーボール)	○	
73	11/21	木	球技 (バレーボール)	○	
74	11/21	木	球技 (バレーボール)	○	
75	11/28	木	球技 (バレーボール)	○	
76	11/28	木	球技 (バレーボール)	○	

第2回(11/28)

77	11/28	木	球技 (バレーボール)	○	
78	12/5	木	球技 (バレーボール)	○	
79	12/5	木	球技 (バレーボール)		○
80	12/5	木	球技 (バドミントン)		○
81	12/12	木	球技 (バドミントン)	○	
82	12/12	木	球技 (バドミントン)	○	
83	12/12	木	球技 (バドミントン)	○	
84	12/19	木	球技 (バドミントン)	○	
85	12/19	木	球技 (バドミントン)	○	
86	12/19	木	球技 (バドミントン)	○	
87	1/9	木	球技 (バドミントン)	○	
88	1/9	木	球技 (バドミントン)	○	
89	1/9	木	球技 (バドミントン)	○	
90	1/16	木	球技 (バドミントン)	○	
91	1/16	木	球技 (バドミントン)		○
92	1/16	木	体づくり運動		○
93	1/23	木	体づくり運動	○	
94	1/23	木	体づくり運動	○	
95	1/23	木	体づくり運動	○	
96	1/30	木	体づくり運動	○	
97	1/30	木	体づくり運動	○	
98	1/30	木	体づくり運動	○	
99	2/6	木	体づくり運動	○	
100	2/6	木	体づくり運動	○	
101	2/6	木	体づくり運動	○	
102	2/13	木	学年末試験	○	
103	2/20	木	体づくり運動		○
104	2/20	水	体づくり運動		○
105	2/20	木	体づくり運動	○	

第3回(2/20)

2024年度年間教育計画

面接指導施設：岩谷学園高等専修学校

教科	科目		期間	担当者
保健体育	体育	単位数： 3 単位 [標準単位： 単位]	年間	佐藤すもも 石黒宏始 岡野萌々子
指導目標				
心と体を一体としてとらえ、健康・安全や運動についての理解と運動の合理的な実践を通して、生涯にわたって計画的に運動に親しむ資質や能力を育てる				
スクーリング	全 70 回	面接指導： 81回 講義： 24回	教科書	大修館書店「現代 高等保健体育」
レポート	全 3 回	添削指導：講義に含む その他： 回	学習図書	自校作成の教材資料を使用
定期試験	あり	学期： 1回	副教材	大修館書店「現代 高等保健体育ノート」
定期試験の評価割合	『総合的に判断します』	評定算出方法 100法5段階評定		

回	日付	曜日	単元・学習内容	面接指導	講義	レポート (締切期日)
1	4/17	水	シラバス		○	
2	4/17	水	ガイダンス		○	
3	4/17	水	ガイダンス		○	
4	4/24	水	体づくり運動			
5	4/24	水	体づくり運動	○		
6	4/24	水	体づくり運動	○		
7	5/1	水	体育理論			
8	5/1	水	体育理論	○		
9	5/1	水	体育理論	○		
10	5/8	水	体づくり運動			
11	5/8	水	体づくり運動	○		
12	5/8	水	体づくり運動	○		
13	5/15	水	体育理論		○	
14	5/15	水	体育理論		○	

15	5/15	水	体育理論		○
16	5/22	水	体づくり運動		○
17	5/22	水	体づくり運動	○	
18	5/22	水	体づくり運動	○	
19	5/29	水	体育理論		○
20	5/29	水	体育理論		○
21	5/29	水	体育理論		○
22	6/5	水	球技 (バスケットボール)		○
23	6/5	水	球技 (バスケットボール)	○	
24	6/5	水	球技 (バスケットボール)	○	
25	6/12	木	球技 (バスケットボール)	○	
26	6/12	水	球技 (バスケットボール)	○	
27	6/12	水	球技 (バスケットボール)	○	
28	6/19	水	前期期末試験	○	
29	6/19	水	球技 (バスケットボール)	○	
30	6/19	水	球技 (バスケットボール)	○	
31	6/26	水	球技 (バスケットボール)	○	
32	6/26	水	球技 (バスケットボール)	○	
33	6/26	水	球技 (バスケットボール)	○	
34	7/3	水	前期期末試験	○	
35	7/10	水	球技 (バスケットボール)	○	
36	7/10	水	球技 (バスケットボール)		○
37	7/10	水	球技 (バスケットボール)		○
38	7/17	水	陸上競技		○
39	7/17	水	陸上競技	○	
40	7/17	水	陸上競技	○	
41	8/28	水	陸上競技	○	
42	8/28	水	陸上競技	○	
43	8/28	水	陸上競技	○	
44	9/4	水	陸上競技	○	
45	9/4	水	陸上競技	○	

第1回(7/10)

46	9/4	水	陸上競技	○	
47	9/11	水	陸上競技	○	
48	9/11	水	陸上競技	○	
49	9/11	水	陸上競技	○	
50	9/18	水	陸上競技	○	
51	9/18	水	陸上競技	○	
52	9/18	水	陸上競技	○	
53	9/25	水	陸上競技	○	
54	9/25	水	陸上競技	○	
55	9/25	水	陸上競技	○	
56	10/2	水	陸上競技	○	
57	10/2	水	陸上競技	○	
58	10/2	水	陸上競技	○	
59	10/16	水	陸上競技		○
60	10/16	水	ダンス		○
61	10/16	水	ダンス	○	
62	10/23	水	ダンス	○	
63	10/23	水	ダンス	○	
64	10/23	水	ダンス	○	
65	10/30	水	ダンス	○	
66	10/30	水	ダンス	○	
67	10/30	水	ダンス		○
68	11/13	水	球技 (バレーボール)		○
69	11/13	水	球技 (バレーボール)	○	
70	11/13	水	球技 (バレーボール)	○	
71	11/20	水	球技 (バレーボール)	○	
72	11/20	水	球技 (バレーボール)	○	
73	11/20	水	球技 (バレーボール)	○	
74	11/27	水	球技 (バレーボール)	○	
75	11/27	水	球技 (バレーボール)	○	
76	11/27	水	球技 (バレーボール)	○	
77	12/4	水	球技 (バレーボール)	○	
78	12/4	水	球技 (バレーボール)	○	

第2回(11/27)

79	12/4	水	球技 (バレーボール)		○
80	12/11	水	球技 (バドミントン)		○
81	12/11	水	球技 (バドミントン)	○	
82	12/11	水	球技 (バドミントン)	○	
83	12/18	水	球技 (バドミントン)	○	
84	12/18	水	球技 (バドミントン)	○	
85	12/18	水	球技 (バドミントン)	○	
86	1/15	水	球技 (バドミントン)	○	
87	1/15	水	球技 (バドミントン)	○	
88	1/15	水	球技 (バドミントン)	○	
89	1/22	水	球技 (バドミントン)	○	
90	1/22	水	球技 (バドミントン)	○	
91	1/22	水	球技 (バドミントン)		○
92	1/29	水	体づくり運動		○
93	1/29	水	体づくり運動	○	
94	1/29	水	体づくり運動	○	
95	2/5	水	体づくり運動	○	
96	2/5	水	体づくり運動	○	
97	2/5	水	体づくり運動	○	
98	2/12	水	学年末試験	○	
99	2/12	水	体づくり運動	○	
100	2/19	水	体づくり運動	○	
101	2/19	水	体づくり運動	○	
102	2/19	水	体づくり運動	○	
103	2/26	水	体づくり運動		○
104	2/26	水	体づくり運動		○
105	2/26	水	体づくり運動	○	

第3回(2/26)

2024年度年間教育計画

面接指導施設：岩谷学園高等専修学校

教科	科目		期間	担当者
保健体育	体育	単位数： 2 単位 [標準単位： 単位]	年間	佐藤すもも 石黒宏始 岡野 萌々子
指導目標 心と体を一体としてとらえ、健康・安全や運動についての理解と運動の合理的な実践を通して、生涯にわたって計画的に運動に親しむ資質や能力を育てる				
スクーリング	全 70 回	面接指導： 50回 講義： 20回	教科書	大修館書店 「現代高等保健体育」
レポート	全 2 回	添削指導：講義に含む その他： 回	学習図書	自校作成の教材資料を使用
定期試験	あり	学 期： 1 回	副教材	大修館書店 「現代高等保健体育ノート」
定期試験の評価割合	『総合的に判断します』	評定算出方法 100法5段階評定		

回	日付	曜日	単元・学習内容	面接指導	講義	レポート (締切期日)
1	4/9	火	シラバス		○	
2	4/9	火	ガイダンス		○	
3	4/16	火	体づくり運動	○		
4	4/16	火	体づくり運動	○		
5	4/23	火	体育理論		○	
6	4/23	火	体育理論		○	
7	4/30	火	体づくり運動	○		
8	4/30	火	体づくり運動	○		
9	5/7	火	球技 (フットサル)		○	
10	5/7	火	球技 (フットサル)	○		
11	5/14	火	球技 (フットサル)	○		
12	5/14	火	球技 (フットサル)	○		
13	5/21	火	球技 (フットサル)	○		

14	5/21	火	球技 (フットサル)	○	
15	5/28	火	球技 (フットサル)	○	
16	5/28	火	球技 (フットサル)		○
17	6/4	火	体育理論		○
18	6/4	火	体育理論		○
19	6/11	火	体育理論		○
20	6/11	火	体育理論		○
21	6/18	火	体づくり運動	○	
22	6/18	火	体づくり運動	○	
23	6/25	火	体づくり運動	○	
24	6/25	火	体づくり運動	○	
25	7/2	木	前期期末試験		○
26	7/2	火	陸上競技		○
27	7/3	火	陸上競技	○	
28	7/9	火	陸上競技	○	
29	7/9	火	陸上競技	○	
30	7/16	火	陸上競技	○	
31	7/16	火	陸上競技	○	
32	8/27	火	陸上競技	○	
33	8/27	火	陸上競技	○	
34	9/3	火	陸上競技	○	
35	9/3	火	陸上競技	○	
36	9/10	火	陸上競技	○	
37	9/10	火	陸上競技	○	
38	9/17	火	陸上競技	○	
39	9/17	火	陸上競技		○
40	9/24	火	球技 (バドミントン)		○
41	9/24	火	球技 (バドミントン)	○	
42	10/1	火	球技 (バドミントン)	○	
43	10/1	火	球技 (バドミントン)	○	
44	10/8	火	球技 (バドミントン)	○	

第1回
(9/3)

45	10/8	火	球技 (バドミントン)	○	
46	10/15	火	球技 (バドミントン)	○	
47	10/15	火	球技 (バドミントン)	○	
48	10/22	火	球技 (バドミントン)	○	
49	10/22	火	球技 (バドミントン)		○
50	10/29	火	球技 (ハンドボール)		○
51	10/29	火	球技 (ハンドボール)	○	
52	11/5	火	球技 (ハンドボール)	○	
53	11/5	火	球技 (ハンドボール)	○	
54	11/12	火	球技 (ハンドボール)	○	
55	11/12	火	球技 (ハンドボール)		○
56	11/19	火	球技 (バスケットボール)		○
57	11/19	火	球技 (バスケットボール)	○	
58	11/26	火	球技 (バスケットボール)	○	
59	11/26	火	球技 (バスケットボール)	○	
60	12/3	火	球技 (バスケットボール)	○	
61	12/3	火	球技 (バスケットボール)	○	
62	12/10	火	球技 (バスケットボール)	○	
63	12/10	火	球技 (バスケットボール)		○
64	12/17	火	卒業判定試験		○
65	12/17	火	体づくり運動	○	
66	12/24	火	体づくり運動	○	
67	12/24	火	体づくり運動	○	
68	1/16	火	体づくり運動	○	
69	1/28	火	体づくり運動	○	
70	1/28	火	体づくり運動	○	

第2回(1/28)

2024年度年間教育計画

面接指導施設: 未

教科		科目	
地理歴史科	地理総合	単位数: 3単位	[標準単位: 3単位]
指導目標			
<p>1 地理に関わる諸事象に関して、世界の生活文化の多様性や、防災、地域や地球的課題への取組システムなどを用いて、調査や諸資料から地理に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べ、</p> <p>2 地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、位置や分布、場所、人間と自然環境、地域などに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、地理的な課題の解決たことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。</p> <p>3 地理に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の国活文化を尊重しようとする事の大切さについての自覚などを深める。</p>			
スクーリング	全70回	面接指導: 17回	講義: 53回
レポート	全12回	添削指導: 講義に含む	その他: 3回
定期試験	あり	学期: 2回	
定期試験の 評価割合	『総合的に判断します』	評定算出方法	100法5段階評定

回	日付	曜日	単元・学習内容	面接指導
1	4/8	月	第1部地図でとらえる現代世界第1章地図と地理情報システム☒ 1節地球上の位置と時差☒ 1地球上の位置と私たちの生活	○
2	4/9	火	2時差と私たちの生活	
3	4/15	月	2節地図の役割と種類☒ 1地球儀と地図☒ 2身の回りの地図	○
4	4/16	火	3統計地図の種類と利用☒ 4地理情報システム(GIS)の活用	
5	4/22	月	第2章結びつきを深める現代世界☒ 1節現代世界の国家と領域☒ 1現代世界の国家	○
6	4/23	火	2日本に位置や領域	
7	4/30	火	2節グローバル化する世界☒ 1国家間の結びつき	
8	5/6	月	2貿易によって結びつく世界	
9	5/7	火	3様々な交通網の発達☒ 4世界を結ぶ通信網の発達	○
10	5/13	月	5観光のグローバル化	

11	5/14	火	第2部国際理解と国際協力☒ 第1章生活文化の多様性と国際理解☒ 序説生活文化の多様性☒ 1生活文化を考察する方法	○
12	5/20	月	1節世界の地形と人々の生活☒ 1大地形と人々の生活	○
13	5/21	火	2変動帯と人々の生活☒ 3安定地域と人々の生活	
14	5/23	木	前期中間試験	
15	5/27	月	4河川がつくる地形と人々の生活	
16	5/28	火	5海岸の地形と人々の生活	○
17	6/3	月	6氷河地形・乾燥地形・カルスト地形と 人々の生活	
18	6/4	火	2節世界の気口頭人々の生活☒ 1気温・降水と人々の生活	
19	6/10	月	2大気大循環と人々の生活	
20	6/11	火	3世界の職制と気候区分	
21	6/17	月	4熱帯の生活5乾燥帯の生活	
22	6/18	火	6温帯の生活7亜寒帯・寒帯の生活	○
23	6/24	月	1人々をひきつける多様な自然環境	○
24	6/25	火	2自然環境を生かした産業と人々の生 活	
25	7/2	火	1モンスーンの影響を受けてきた人々 の生活	
26	7/3	水	前期期末試験	
27	7/8	月	2気候を生かした農業と人々の生活	○
28	7/9	火	3説世界の言語・宗教と人々の生活☒ 1世界の言語と人々の生活文化	
29	7/16	火	2世界の宗教と人々の生活文化	
30	7/22	月	1イスラームを中心とした世界勝文化	○
31	7/23	火	2乾燥地域で暮らすムスリムの生活文 化☒ 3変化するムスリムの生活	
32	9/2	月	1インドの歩みとヒンドゥー教	
33	9/3	火	2宗教や自然環境の影響を受けるイン ドの食生活	
34	9/9	月	3変化するヒンドゥー教徒の生活	
35	9/10	火	4節歴史的背景と人々の生活☒ 1歴史的背景が人々の生活に与える影 響	
36	9/17	火	1ヨーロッパ社会の影響が強い文化	○
37	9/24	火	2大土地所有制が生み出した社会構造	
38	9/30	月	3外国資本による工業化と生活の変化	
39	10/1	火	1生活文化に残る旧宗主国の影響☒ 2植民地支配の影響が残るアフリカの 産業	
40	10/7	月	3人々の生活の変化と経済成長への取 り組み	

41	10/8	火	1国家体制の変化が人々の生活に与えた影響☒ 2変化するロシアの産業	
42	10/15	火	5節世界の産業と人々の生活☒ 1人々の生活を支える農業の発展	
43	10/21	月	2人々の生活を支える工業の発展☒ 3グローバル化する現代の産業と人々の生活	
44	10/22	火	1世界に大きな影響力を持つ知識産業と資源☒ 2世界の食卓に影響を与える農業	○
45	10/28	月	3産業の発展を支えてきた移民の力	
46	10/29	火	1東アジアの経済成長とその歩	○
47	11/5	火	2経済成長による中国の生活の変化☒ 3経済成長による韓国の生活の変化	
48	11/6	水	後期中間試験	
49	11/11	月	1EU統合と人々の生活	
50	11/12	火	2EU統合による農業への影響☒ 3EU統合による工業や社会への影響	
51	11/18	月	第2章地球的課題と国際協力☒ 1節複雑に絡み合う地球的課題☒ 1相互に関連する地球的課題とその解決に向けて	
52	11/19	火	2節地球環境問題☒ 1多様な地球環境問題	
53	11/25	月	2熱帯林の破壊への対策☒ 3地球温暖化への対策	
54	11/26	火	3説資源・エネルギー問題☒ 1世界のエネルギー・鉱産資源	
55	12/2	月	2エネルギー利用の現状と課題	○
56	12/3	火	3地域で異なるエネルギー問題への取り組み	
57	12/9	月	4節人口問題☒ 1世界の人口	
58	12/10	火	2発展途上国と先進国の人口問題☒ 3地域で異なる人口問題への取り組み	
59	12/16	月	5節食糧問題☒ 1飢餓と飽食☒ 2地域で異なる食糧問題への取り組み	
60	12/17	火	6節都市・居住問題☒ 1世界の都市の発達	
61	12/23	月	2発展途上国と先進国の都市・居住問題☒ 3地域で異なる都市・居住問題への取り組み	
62	12/24	火	第3部持続可能な地域づくりと私たち☒ 第1章自然環境と防災☒ 1節日本の地形☒ 1日本の地形☒ 2日本の気候	
63	1/14	火	2節地震・津波と防災☒ 1地震・津波による災害	
64	1/16	火	卒業判定試験	

65	1/20	月	2地震・津波の被災地の取り組み	
66	1/21	火	3節火山災害と防災☒ 1火山の恵みと災害☒ 2火山と共存する地域の取り組み	
67	1/27	月	4節気象災害と防災☒ 1さまざまな気象災害☒ 2気象災害への取り組み	○
68	1/28	火	5節自然災害への備え☒ 1減災の取り組み☒ 2被災地への支援	○
69	2/3	月	第2章生活圏の調査と地域の展望☒ 1節生活圏の調査と地域の展望☒ 1地理的な課題と地域調査	
70	2/4	火	2現地調査の準備☒ 3現地調査の実施☒ 4調査の分析と発表	

当谷学園高等専修学校

	期間	担当者
[]	年間	高橋

図組などを理解するとともに、地図や地理情報をもとめる技能を身に付けるようにする。

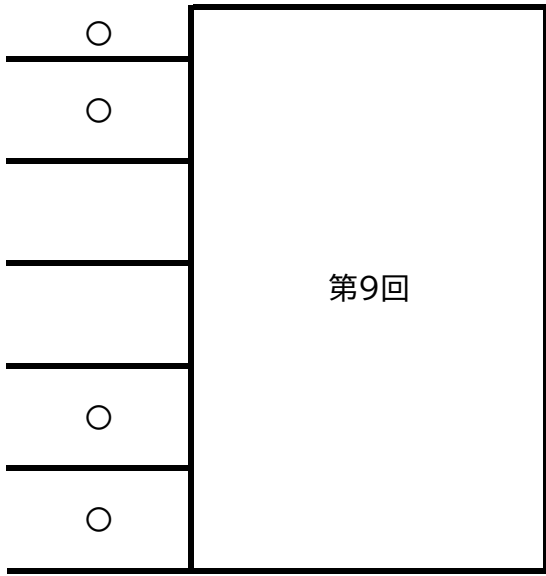
事象との相互依存関係、空間的相互依存作用、事象に向けて構想したりする力や、考察、構想し

事に追究、解決しようとする態度を養うとともに郷土に対する愛情、世界の諸地域の多様な生

教科書	高等学校新地理総合 帝国書院
学習図書	自校作成の教材資料を使用
副教材	新詳高等地図 帝国書院

講義	レポート (締切期日)
	第1回
○	
○	
○	
○	
○	
○	

	第2回
○	
○	
○	
○	第3回
○	
○	
○	
○	
○	
	第4回
○	
○	
○	
○	
	第5回
○	
○	
○	
○	



2024年度年間教育計画

面接指導施設：岩谷学園高等専修学校

教科		科目		期間	担当者	
保健体育		保健		単位数： 1 単位 [標準単位： 単位]	年間	佐藤 すもも、岡野 萌々子
指導目標 個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるようにし、生涯を通じて自らの健康を適切に管理し、改善していく資質や能力を育てる。						
スクーリング	全 35 回	面接指導： 4 回 講義： 31 回	教科書	現代高等保健体育		
レポート	全 3 回	添削指導：講義に含む その他： 回	学習図書	現代高等保健体育ノート		
定期試験	あり	学期： 1回	副教材	なし		
定期試験の 評価割合	『総合的に判断します』	評定算出方法 100法5段階評定				
回	日付	曜日	単元・学習内容	面接 指導	講義	レポート (締切期日)
1	4/11	木	シラバス・教科指導の説明	○		第1回(7/11)
2	4/18	木	1.健康の考え方と成り立ち		○	
3	4/25	木	2.私たちの健康のすがた		○	
4	5/2	木	3.生活習慣病の予防と回復		○	
5	5/9	木	4.がんの原因と予防		○	
6	5/16	木	1-4.復習問題		○	
7		木	前期中間試験	○		
8	5/30	木	試験返却・解説		○	
9	6/6	木	5.がんの治療と回復		○	
10	6/13	木	6.運動と健康		○	
11	6/20	木	7.食事と健康		○	
12	6/27	木	4-7.復習問題		○	
13		木	前期末試験	○		
14	7/11	木	試験返却・解説		○	
15	7/15	木	8.休養・睡眠と健康		○	
16	7/22	木	9.喫煙と健康		○	
17	8/29	木	10.飲酒と健康		○	
18	9/5	木	11.薬物乱用と健康		○	
19	9/12	木	12.精神疾患の特徴		○	
20	9/19	木	13.精神疾患の予防		○	
21	9/26	木	14.精神疾患からの回復		○	
22	10/3	木	15.現代の感染症		○	第3回(2/20)
23	10/10	木	16.感染症の予防		○	
24	10/17	木	17.性感染症・エイズとその予防		○	
25	10/24	木	18.健康に関する意思決定・行動選択		○	
26	10/31	木	8-18.復習問題		○	
27		木	後期中間試験		○	
28	11/14	木	試験返却・解説		○	
29	11/21	木	19.健康に関する環境づくり		○	
30	12/5	木	20.事故の現状と発生要因		○	
31	12/12	木	21 安全な社会の形成		○	

32	1/9	木	22 交通における安全		○	
33	1/27	木	23 応急手当の意義とその基本		○	
34		木	学年末試験		○	
35	2/20	木	試験返却・解説	○		

2024年度年間教育計画

面接指導施設：

教科	科目		期間	担当者
保健体育	保健	単位数： 1 単位 [標準単位： 単位]	年間	石黒 宏始、岡野 萌々子

指導目標

生涯にわたり健康に過ごすために自分自身で意思決定や行動選択しそれに伴う責任を持つことができる知識と態度を身につける。

スクーリング	全 35 回	面接指導： 4 回 講義： 31 回	教科書	現代高等保健体育
レポート	全 2 回	添削指導：講義に含む その他： 回	学習図書	現代高等保健体育ノート
定期試験	あり	学期： 1回	副教材	なし
定期試験の 評価割合	『総合的に判断します。』	評定算出方法 100法5段階評定		

回	日付	曜日	単元・学習内容	面接指導	講義	レポート (締切期日)
1	4/11	木	シラバス・教科指導の説明	○		第1回(6/27)
2	4/18	木	1. 事故の現状と発生要因		○	
3	4/25	木	2. 安全な社会の形成		○	
4	5/2	木	3. 交通における安全		○	
5	5/9	木	4. 応急手当ての意義とその基本		○	
6	5/16	木	1.-4. 復習問題		○	
7		木	前期中間試験	○		
8	5/30	木	試験の返却・解説		○	
9	6/6	木	5. 日常的な応急手当て		○	
10	6/13	木	6. 心配蘇生法		○	
11	6/20	木	7. ライフステージと健康		○	
12	6/27	木	5.-7. 復習問題		○	
13		木	前期期末試験	○		
14	7/11	木	試験の返却・解説		○	
15	7/15	木	8. 思春期と健康		○	
16	7/22	木	9. 性意識と性行動の選択		○	
17	8/29	木	10. 妊娠・出産と健康		○	
18	9/5	木	11. 避妊法と人工妊娠中絶		○	
19	9/12	木	12. 結婚生活と健康		○	
20	9/19	木	13. 中高年期と健康		○	
21	9/26	木	14. 働くことと健康		○	
22	10/3	木	15. 労働災害と健康		○	
23	10/10	木	17 大気汚染と健康		○	
24	10/17	木	18 水質汚濁、土壌汚染と健康		○	
25	10/24	木	19 環境と健康にかかわる対策		○	第3回(2/20)
26	10/31	木	8.-19. 復習問題		○	
27		木	前期期末試験		○	
28	11/14	木	試験の返却・解説		○	
29	11/21	木	20 ごみの処理と下水道整備		○	
30	12/5	木	21 食品の安全性		○	
31	12/12	木	22 食品衛生にかかわる活動		○	

32	1/9	木	23 保健サービスとその活用		○	
33	1/27	木	24.医療サービスとその活用		○	
34		木	学年末試験		○	
35	2/20	木	試験の返却・解説	○		

2024年度年間教育計画

面接指導施設：岩谷学園高等専修学校

教科	科目		期間	担当者
商業	簿記	単位数：2 単位 [標準単位： 単位]	年間	渡邊、前田、臼田
指導目標				
<ul style="list-style-type: none"> ●簿記に関する知識と技術の習得を目指し、基本的な仕組みを理解する。 ●適正な会計処理能力と態度の育成をする。 ●全経簿記検定3級の合格を目指す。 				
スクーリング	全 70 回	面接指導：25 回 講義：41 回	教科書	「新簿記」／実教出版
レポート	全 6 回	添削指導：講義に含む その他：2 回	学習図書	自校作成の教材資料を使用
定期試験	あり	学期：2回	副教材	全経簿記3級過去問題集
定期試験の 評価割合	総合的に判断する	評定算出方法 100法5段階評定		

回	日付	曜日	単元・学習内容	面接指導	講義	レポート (締切期日)
1	4/17	水	ガイダンス 簿記を学ぶ前に		○	
2	4/17	水	簿記で使われる用語・勘定科目		○	
3	4/24	水	簿記の基礎		○	
4	4/24	水	簿記の基礎		○	
5	5/1	水	簿記の基礎 貸借対照表		○	
6	5/1	水	簿記の基礎 貸借対照表		○	
7	5/8	水	貸借対照表の作成		○	
8	5/8	水	貸借対照表の作成		○	
9	5/15	水	試験対策	○		
10	5/15	水	試験対策	○		
11	5/23	水	前期中間試験			
12	5/29	水	簿記の基礎 損益計算書	○		
13	5/29	水	損益計算書の作成		○	
14	6/5	水	計算問題	○		
15	6/12	水	計算問題	○		
16	6/12	水	仕訳 現金取引	○		
17	6/19	水	仕訳 普通預金の取引		○	
18	6/19	水	仕訳 仕入と売上商品販売益	○		
19	6/26	水	仕訳 掛取引	○		
20	6/26	水	仕訳 借入金と貸付金	○		
21	7/3	水	前期期末試験			
22	7/10	水	仕訳 資本金		○	
23	7/10	水	仕訳 その他の資産勘定		○	
24	7/17	水	仕訳 その他の資産勘定		○	
25	7/17	水	仕訳 費用勘定		○	
26	8/28	水	仕訳 費用勘定		○	
27	8/28	水	総勘定元帳		○	
28	9/4	水	総勘定元帳		○	
29	9/4	水	仕訳帳		○	
30	9/11	水	仕訳帳		○	
31	9/11	水	現金出納帳		○	

32	9/18	水	現金出納帳		○
33	9/18	水	8桁精算表	○	
34	9/25	水	8桁精算表	○	
35	9/25	水	8桁精算表	○	
36	10/2	水	8桁精算表	○	
37	10/2	水	8桁精算表	○	
38	10/9	水	8桁精算表		○
39	10/9	水	非営利団体の会計報告		○
40	10/16	水	非営利団体の会計報告		○
41	10/16	水	非営利団体の会計報告		○
42	10/23	水	非営利団体の会計報告		○
43	10/23	水	非営利団体の会計報告		○
44	10/30	水	検定対策		○
45	10/30	水	検定対策		○
46	11/6	水	後期中間試験		
47	11/13	水	検定対策	○	
48	11/13	水	検定対策	○	
49	11/20	水	検定対策	○	
50	11/20	水	三分法		○
51	11/27	水	仕訳 当座預金口座		○
52	11/27	水	仕訳 株式発行		○
53	12/4	水	仕訳 有価証券の購入売却		○
54	12/4	水	仕訳 商品券 口座振替		○
55	12/11	水	仕訳 貸倒損失 貸倒引当金		○
56	12/11	水	仕訳 所得税預り金 租税公課		○
57	12/18	水	仕訳 仮払 仮受消費税		○
58	12/18	水	計算問題	○	
59	1/8	水	計算問題	○	
60	1/8	水	仕入帳	○	
61	1/15	水	仕入帳	○	
62	1/15	水	売上帳	○	
63	1/22	水	売上帳	○	
64	1/22	水	小口現金出納帳		○
65	1/29	水	小口現金出納帳		○
66	2/5	水	当座預金出納帳		○
67	2/5	水	試験対策		
68	2/12	水	学年末試験		
69	2/19	水	検定対策	○	
70	2/19	水	検定対策	○	